

DI 264 401

Dishwasher
食器洗い機

目次

安全上の注意	4
安全上の注意	4
はじめてお使いになる前に	6
設置についてのご注意	6
省エネ	6
ゼオライト乾燥	6
アクアセンサー	6
ドアオートオープン機能	6
据付と接続	7
納品物一式	7
安全上の注意	7
納品	7
製品仕様	7
据付	7
排水接続	7
給水接続	8
温水接続	8
電気接続	8
取り外し	9
移設	9
凍結防止	9
お使いの機器について	10
機器各部の名称	10
コントロールパネル	12
コントロールパネル	12
プログラム	14
プログラム一覧	14
パーソナル機能	15
オプション機能	16
選択可能なオプション機能の概要	16

特徴	17
上段バスケット	17
下段バスケット	17
バスケットの高さ設定	18
カトラリートレイ	19
折りたたみラック	20
折りたたみ式仕切りピン	20
スプレーヘッド	21
初めてご使用になる前に	22
初期設定	22
軟水装置	22
硬度の設定	22
軟水装置の設定	23
軟水塩	23
軟水装置をオフにする	23
リンス剤	24
リンス剤を補充する	24
リンス剤の量を設定する	24
リンス剤ディスペンサーをオフにする	24
洗剤	25
適切な洗剤の使用	25
不適切な洗剤	25
洗剤を補充する	26
食器	27
グラスおよび食器の損傷	27
食器をセットする	27
食器を取り出す	28

基本操作	28
機器のドアを開ける	28
機器の電源を入れる	28
プログラムの設定	26
オプション機能を設定する	28
タイマープログラムを設定する	29
プログラムをスタートする	29
ボタンロックを有効にする	29
プログラムの中断（一時停止）	29
プログラムをキャンセルする	29
機器の電源を切る	29
基本設定の概要	30
基本設定の概要	30
基本設定の変更	31
クリーニングとメンテナンス	32
庫内を洗淨する	32
庫内洗淨剤	32
機器のお手入れに関するヒント	32
Machine Care	32
フィルターシステム	33
スプレーアームを洗淨する	34
故障かなと思ったら	35
機器の安全性	35
エラーコード/エラー表示/シグナル	35
洗淨の仕上がりについて	38
ディスプレイパネルの表示	44
動作不良	46
ノイズ	46
排水ポンプを洗淨する	47
カスタマーサービス	48
環境保護のために	48
廃棄処分について	48



安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」を良くお読みの上、正しくお使いください。




絵表示について

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危険や財産への損害を未然に防止するものです。また、注意事項は危険の大きさと切迫の程度を明示するため、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	誤った取扱いをすると、人が障害を負うまたは重傷を負う可能性および物的損害が想定される内容

図記号の意味は次の通りです。

	△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	○記号は、禁止の行為があることを告げるものです。図の中や付近に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

本体を他の人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。

警告



本機を設置する前に
目で見て分かる外傷がないか確認をしてください。
どんな状況においても、損傷した製品は使わないで
ください。損傷した製品は危険な場合があります。



機械に異常が発生したら
故障が生じたときはまず給水コックを閉め、機械の
スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて
ください。
修理・点検は、必ず販売店、もしくはサービス店に
ご依頼ください。感電や漏電・ショートによる火災
の恐れがあります。



本機は、必ず専用コンセントをご使用ください。
(単相200V 20Aアース付き)



コンセント位置は、機器の背面や隠れる場所に配置
しないでください。
電源コンセントは、食器洗い機の設置後も簡単に手
が届く場所にあり、いつでも電源から引き抜くことが
できるようにしておいてください。



電源コードを損傷、加工、無理に曲げる、引っ張る、
束ねるなどのことはしないでください。
また重いものを乗せたり、挟み込むことにより電源
コードが破損し火災・感電の原因になる場合があり
ます。



本体に水をかけないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。



修理・分解・改造はしないでください。
食器洗い機の修理は必ず専門技術者にご依頼くださ
い。不適切な修理を行なうと、お客様に著しい危険
が生じる可能性があります。また、修理技術者以外は、
分解や修理をしないでください。火災・感電・けが
の原因になります。
修理は販売店、もしくはサービス店にご依頼ください。



本機は、設置施工手順書に従って、施工および接続
を行ってください。



定格を守ってご使用ください。
仕様に表示された電圧でご使用ください。



電気工事はすべて電気工事設備技術基準に準じて
行ってください。

警告



必ず食器洗い機専用の洗剤および乾燥仕上剤のみをご使用ください。台所中性洗剤は絶対に使わないでください。



給水ホース内には電気が流れている電線がありますので、長すぎる場合も切らないでください。



食器洗い機内で溶剤を使用しないでください。爆発する恐れがあります。



排水ホースはしっかりと固定してください。ホースから漏れる水の力でホースが排水口から抜け、水浸しになる恐れがあります。



お子様へのご注意

- お子様だけでのご使用は避けてください。またお子様が触らないようにご注意ください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。
- お子様の中に入らないようにご注意ください。中からドアを開けることはできません。
- 洗剤はお子様の手の届かないところに保管してください。食器洗い機用洗剤には腐食性や刺激性のある成分が含まれています。飲み込んだ場合洗剤が目や口、のどに強い刺激を与えたり、呼吸困難をきたす場合があります。また、食器洗い機内の残留水に洗剤が残っている場合がありますので、ドアが開いている時は、お子様が食器洗い機に近づかないようにご注意ください。もし、お子様が洗剤を飲み込んだり吸い込んだ場合は、すみやかに医師に相談してください。
- 梱包材(フィルム、発泡スチロール等)は窒息を招く危険がありますので、お子様の手に触れないよう十分にご注意ください。

注意



運転中はドアを開けないでください。
高温の湯気が出てやけどをすることがあります。また食器も高温になっていますので触らないようにしてください。



使わない時はドアを閉めてください。
開いたドアに当たってけがをする恐れがありますので、食器の出し入れをするとき以外は常に閉めておくようご注意ください。



ドアの開閉時に、指や手をドアやヒンジにはさまれないようご注意ください。
けがをする恐れがあります。



長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いて必ず止水栓を閉めてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



本機を電気クッカーの下に設置しないでください。電気クッカーによる高い放射温度によって食器洗い機が破損することがあります。また直火やヒーターのように熱を発する他の器具のそばにも設置しないでください。



開いているドアに寄りかかったり、腰かけないでください。
機器の水平度が狂い、故障の原因になります。



食器の取り出しやお手入れは、運転終了後内部が冷えてから行ってください。
やけどや食器の破損の恐れがあります。



本機には水漏れ防止システムがついています。通常は運転していない時も電源プラグは抜かないでください。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず先端の電源プラグを持ってください。
コードを引っ張ると感電やショートにより発火する可能性があります。



電源コード、給水ホース、排水ホース、コントロールパネルなど機器に損傷がある場合は、危険ですので使用しないでください。

⚠ はじめてお使いになる前に

- 食器洗い機内の梱包品はすべて取り出してください。
- 運送中の損傷を防ぐために、バスケット類は固定されています。固定用の発泡スチロールはすべて取り除いてください。
- ご購入後初めてご使用になる場合は、Auto 65-75°で事前に空洗いをし庫内の汚れを落としてください。
- 使用し始めた当初は庫内のにおいが気になることがあります。

⚠ 設置についてのご注意



食器洗い機の設置や移転は、必ずお買い求めの販売店、または専門工事店にご依頼ください。給水や排水、電気接続については、「設置施工説明書」に記載された基準に従ってください。
ご自分での設置・移転や、給水・排水・電気への接続は、感電やその他の事故の恐れがあり危険です。

省エネ

下記の項目に気をつけると、機器の消費電力と使用水量を減少させることができます。

Eco50°プログラムを使用する。

Eco50°プログラムは省エネで環境にも優しいプログラムです。(P15)

ゼオライト乾燥は自動的に省エネになります。

ゼオライトの項参照。(P6)

ゼオライト乾燥

本機器にはゼオライトコンテナが搭載されています。

ゼオライトは庫内の湿気を吸収することにより発熱する鉱物で、乾燥時に発熱により発生した温風を庫内に送り込むことにより食器の乾燥を促進します。

メモ：ゼオライト乾燥の機能を損なわないようにするために、ゼオライトの給気口と排気口の部分には食器などを置かないでください。また、熱に弱い食器などをゼオライトの排気口付近に置かないでください。

ゼオライト排気口：庫内右奥（三角の形状をしている部分）

ゼオライト吸気口：庫内右側面中央の穴

ゼオライト排気口は運転後非常に熱くなっているので絶対に直接触らないでください。

アクサセンサー

アクサセンサーは、洗浄水の濁りを測定する科学的測定装置（光電センサー）です。アクサセンサーの働き方はプログラムによって決まりますが、汚れがひどい場合はすすぎ水はすすぎの度に入れ替わりますが、汚れが軽い場合は、すすぎ水は次のすすぎ水として利用されます。

これにより使用水量を3～6ℓ削減することができます。

オートプログラムではさらに洗浄温度と運転時間も汚れに応じて調整されます。

ドアオートオープン機能

プログラムの終了直前にドアが自動で開きます。

ドアが開くことで内部の水蒸気が外部に放出されるので乾燥はより促進されます。

ディスプレイに“0h:00m”が表示されればプログラムは終了ですが、最高の乾燥結果を得るために、食器の取り出しはプログラムの終了後、食器類の温度が下がるまでお待ちください。

→“基本設定の概要”(P31)でオンまたはオフの設定ができます。

※キッチン天板裏および付近の扉材が木材の場合、放出された蒸気により腐食する可能性があります。蒸気が触れる可能性がある部分は、カウンター保護材の取り付けやコーティングをするなどして必ず防湿処理を行ってください。

据付と接続

規定どおりに運用するためには、本食器洗い機を適切に接続する必要があります。給水および排水のデータならびに電気接続は、後述のとおりに、また設置施工説明書に規定したとおり、必要な基準に沿っていなければなりません。

設置の際は、次の作業ステップの順番に従ってください

- 1 納品時の機器および同梱物の確認
- 2 据付
- 3 排水接続
- 4 給水接続
- 5 電気接続

納品物一式

納品物に不備・不足がある場合は、本装置をお求めになった販売店にご連絡ください。

- 食器洗い機（本体）
- 取扱説明書（本書）
- 保証書
- スプレーヘッド
- ファネル（ろうと）
- カウンター保護材
- 設置施工説明書
- 電源ケーブル
- 巾木覆いシート等

安全上の注意

「安全上の注意（P4）」に記載されている内容に留意してください。

納品

ご購入いただいた食器洗い機は、その機能に支障がないか工場によく検査されています。検査の際に小さな水垢が残ります。それらは、最初の洗浄プロセスの後に消えます。

製品仕様

- **重量：**
最大45kg
- **電圧：**
200V、50Hzまたは60Hz
- **消費電力：**
1.7kW
- **ヒューズによる保護：**
15A
- **待機電力：**
オフ状態で0.10W
- **水圧：**
0.05MPa（0.5bar）以上、1MPa（10bar）以下。水圧がより高い場合：減圧バルブを上流側に設置します。
- **供給量：**
10リットル／分以上
- **水温：**
冷水。温水の場合60℃以下
- **洗浄容：**
9人分

据付

組込みに必要な寸法は、設置施工説明書をご覧ください。本製品は、調整可能な脚を使って水平に据え付けます。その際、安定した状態を確保します。

- 本製品は、転倒しないよう設置施工説明書に従って設置してください。
- 本製品は、システムキッチンの木材または合成材の壁の間に容易に組み込むことができます。

排水接続

- 1 必要な作業ステップは設置施工説明書をご覧ください。
- 2 納品時、ホースを固定していたパーツで排水ホースを固定してから排水管に接続してください。

排水ホースは、折れ曲がったり、圧搾されないように、または絡み合ったりジョイント部材等で排水を妨げないように気をつけてください。

給水接続

- 1 給水接続は、設置施工説明書に従い、同梱のパーツを使用して給水栓に接続します。
給水ホースは、折れ曲ったり、圧搾されないように、または絡み合わないよう気をつけてください。
- 2 製品を交換する場合、必ず新しい給水ホースを使用する必要があります。

水圧：

0.05MPa (0.5bar) 以上、1MPa (10bar) 以下

水圧がこれよりも高い場合：減圧バルブを上流側に設置します。

供給量：

10リットル／分以上

水温：

水接続推奨。温水の場合60℃以下

温水接続

本食器洗い機は、水または最高60℃の温水に接続することができます。温水への接続が推奨される場合は、循環配管を備えたソーラーシステムのように、エネルギー的に有利な給湯および適切な設備が使用できる場合です。


これによってエネルギーの節約および時間の短縮につながります。

ご使用の装置は、温水設定により、温水での運転に最適化することができます。

その場合、推奨値は40℃以上60℃以下の水温度（供給される水の水温度）になります。

電気ボイラーからの給湯の場合、温水接続は推奨されません。

電気接続

- 本製品は規定に従って設置された、保護接地線（アース）付きコンセントを通じて、200Vかつ50Hzまたは60Hzの交流電源にのみ接続すること。必要な保護装置の選定には、P10  機器銘板に記載の電氣的仕様をご確認ください。
- コンセントは本製品の近くにあってそして組み立て後も自由にアクセスできるようにする必要があります。
設置後にコンセントに自由にアクセスできない場合には、該当する安全規定を守るために、設置の際には3mm以上の接触部断絶を備えた全極切断装置を組み込む必要があります。
- 接続の変更は専門家のみが実施可能です
- 電力接続ケーブルの延長ケーブルは、カスタマーサービスを通じてのみ購入が可能です。
- 専用回路に漏電遮断機の設置をお奨めします。
- 本製品は、水漏れ防止装置を装備しています。これは、電力供給時にのみ機能するというにご注意ください。

取り外し

ここでも作業ステップの順番に従ってください

- 1 製品の電源プラグを、コンセントから抜きます。
- 2 給水バルブを閉めます。
- 3 排水および給水接続を外します。
- 4 家具パーツへの固定ねじを外します。
- 5 基礎板があれば、それを取り外します。
- 6 製品を引き出しますが、その際にホースを慎重に引きます。

移設

食器洗い機の中にある食器類を全て取り出し、空の状態にします。
タンクの水を空にし、庫内の水を強制排水します。

- 1 給水バルブを開きます。
- 2 ドアを閉じます。
- 3 電源を入れます。→「機器の電源を入れる」の項参照 (P28)
- 4 温度が最も高いプログラムを選択します。→「プログラム」の項参照 (P14)
- 5 プログラムをスタートします。→「プログラムをスタートする」の項参照 (P29)
- 6 食器洗い機を空にするために、プログラムを約4分後にキャンセルします。→「プログラムをキャンセルする」の項参照 (P29)
- 7 電源を切ります。→「機器の電源を切る」の項参照 (P29)
- 8 給水バルブを閉めます。
- 9 残っている水を装置から抜くために、給水ホースを外し漏れ出てくる水をバケツや厚手のタオルなどで受けます。
排水ホースを外し、ホース内に残っている水をバケツに排水します。
庫内のフィルターを外し、排水口に溜まった水をスポンジまたはタオルに吸わせて取り除きます。
- 10 「取り外し」の項を参照 (P9) し、機器を取り外します。

※上記で水を抜きましたが、取り切れない水が少量残っていますので、必ず立てた状態で搬送してください。そうすることで、中に残っている水が製品の制御部に達して、故障するのを防ぎます。

- 11 移設後、設置説明書に従い正しく設置ください。

※必ず専門の業者へ設置を依頼ください。

凍結防止

本製品を凍結のおそれのある空間（例えば、休暇用別荘）に置く場合、製品は必ず完全に空にしてください。

運転を開始し、スプレーアームから水が出る音が聞こえてきたら（約2～5分）、Resetを実行してください (P29「プログラムをキャンセルする」参照)。

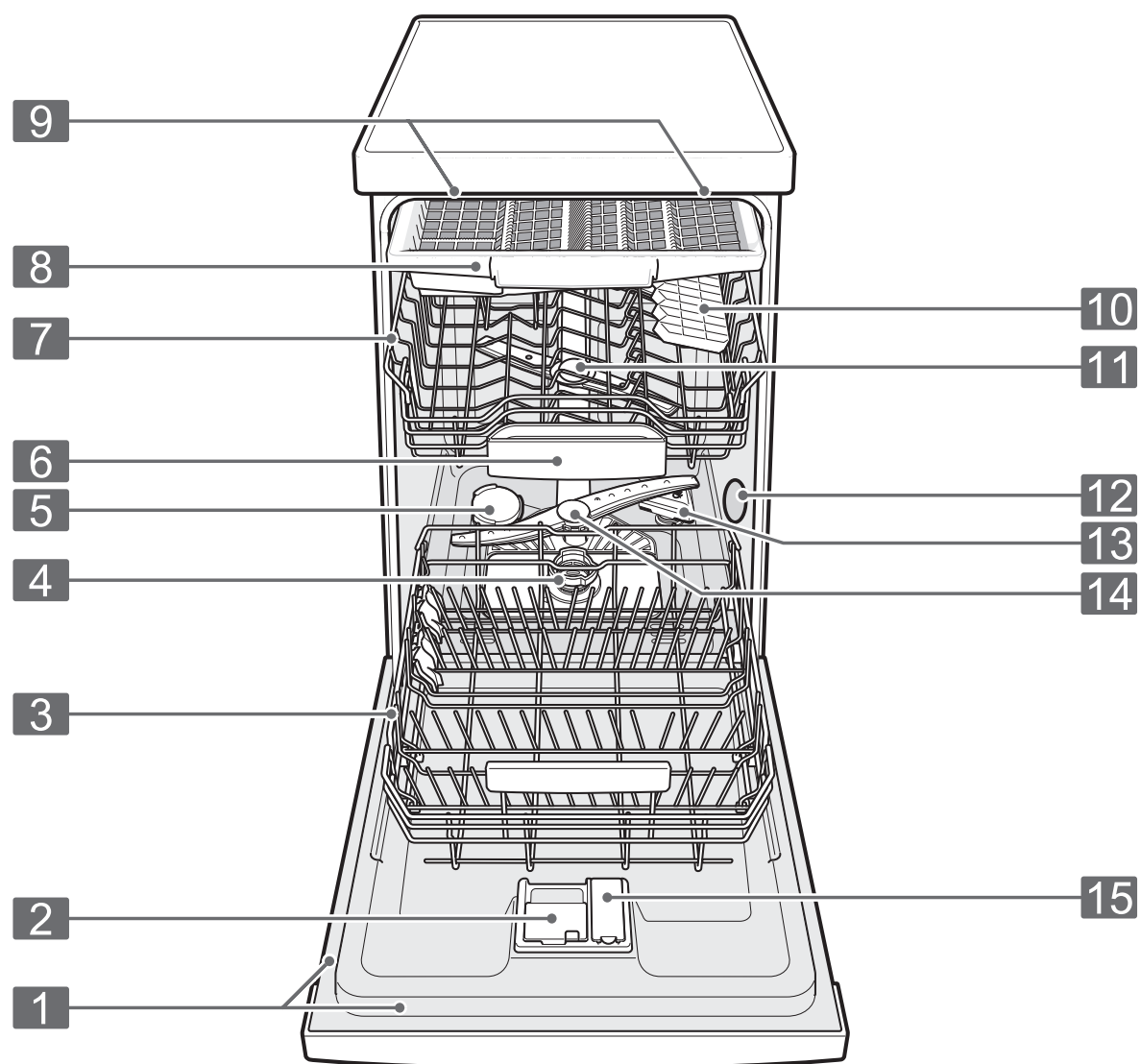
この操作により、側面にあるタンク (=ヒートエクスチェンジャー) の水を排水できます。

庫内のフィルターを外し、排水口に溜まった水をスポンジなどに吸わせて取り除いてください。

製品は予告なく変更される可能性があります。

お使いの機器について

機器各部の名称



1 機器銘板

E 番号とFD 番号 (P48)

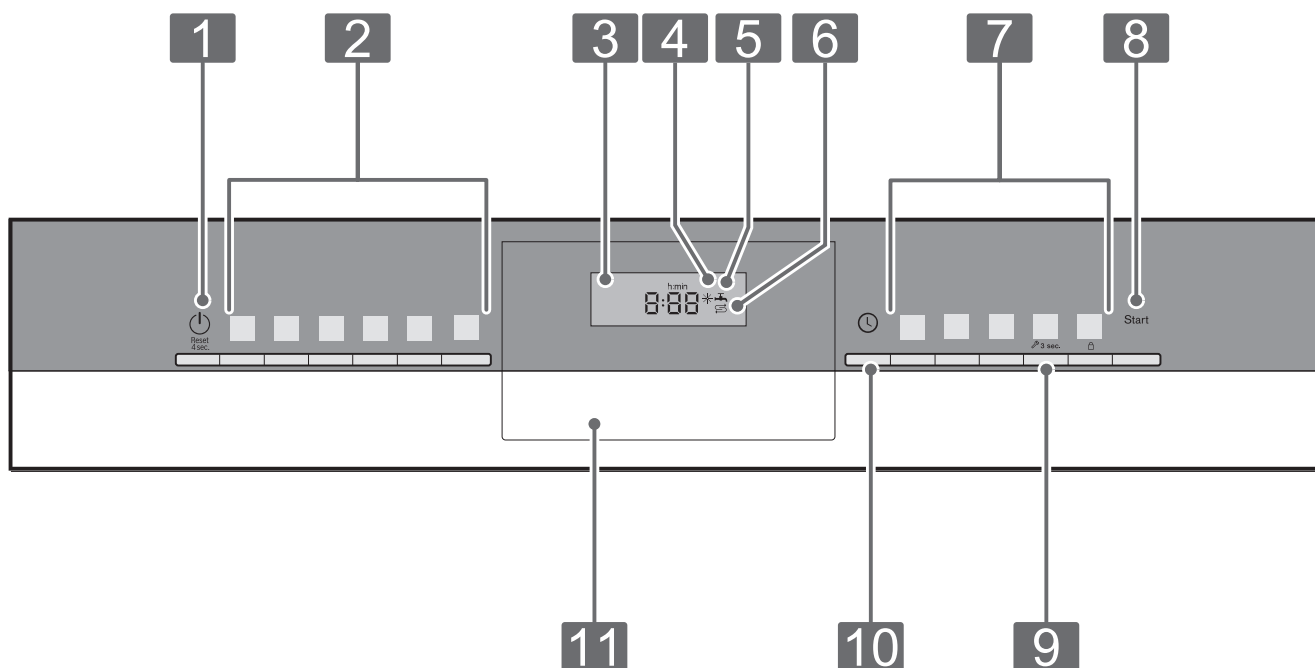
カスタマーサービス・お問い合わせ時に必要な情報 (P48)


2	洗剤ディスペンサー	詳細は「洗剤」(P25)を参照してください。
3	下段バスケット	「下段バスケット」(P17)を参照してください。
4	フィルターシステム	「フィルターシステム」(P33)を参照してください。
5	ソルトディスペンサー	軟水化用の塩を追加します。 「軟水装置」(P22)を参照してください。
6	タブレットトレイ	洗浄サイクル中に、洗剤タブレットは洗剤ディスペンサーからタブレットトレイに落ちて、しっかりと溶かされます。
7	上段バスケット	「上段バスケット」(P17)を参照してください。
8	カトラリートレイ	「カトラリートレイ」(P19)を参照してください。
9	エモーションライト	庫内灯。「基本設定」(P30)を参照してください。
10	折りたたみラック ※	「折りたたみラック」(P20)を参照してください。
11	上段スプレーアーム	上段スプレーアームは上段バスケットの食器を洗浄します。食器がきれいに洗浄されない場合は、スプレーアームを清掃してください。 「スプレーアームを洗浄する」(P34)を参照してください。
12	ゼオライト給気口	ゼオライト乾燥に必要です。(P6)
13	ゼオライト排気口	ゼオライト乾燥に必要です。(P6)
14	下段スプレーアーム	下段スプレーアームはボトムバスケットの食器を洗浄します。食器がきれいに洗浄されない場合は、スプレーアームを清掃してください。 「スプレーアームを洗浄する」(P34)を参照してください。
15	リンス剤ディスペンサー	リンス剤を投入してください。 「リンス剤」(P24)を参照してください。



※ 機器の仕様による

コントロールパネル

コントロールパネルからすべての機能の操作/設定ができ、運転状況に関する情報を確認することができます。
ボタン操作により、いろいろな機能を実行できます。



1	ON/OFFボタン  リセットボタン 4秒 <small>Reset 4 sec.</small>	機器の電源を入れる (P28) 機器の電源を切る (P29) プログラムをキャンセルする (P29)
2	プログラムボタン	プログラム (P14~15)
3	ディスプレイ	このディスプレイには、プログラム終了までの残りの運転時間または基本設定に関する情報が表示されます。ディスプレイおよび設定ボタンによって基本設定を変更できます。 →「基本設定の変更」の項参照 (P31)
4	リンス剤補充インジケータ	リンス剤 (P24)
5	給水インジケータ	給水表示
6	軟水塩補充インジケータ	軟水装置 (P22)
7	プログラムボタンと オプション機能	プログラム (P14~15) オプション機能 (P16,P28)

8	スタートボタン Start	プログラムをスタートする (P29)
9	 3 sec. ボタン	 3 sec. を約3秒間押すと、基本設定が表示されます。
10	タイマープログラム	タイマーの設定 (P29)
11	ドアノブ	ドアを開ける (P28)





プログラム

選択できるプログラムの概要一覧です。

型式ごとの仕様により、利用できるプログラムは異なります。運転時間は選択したプログラムにより異なります。また運転時間は、水温や食器量、汚れ度合い、オプション機能の有無などにより異なります。


リンス剤機能がオフになっていたり、リンス剤が不足している場合も、運転時間が変わってきます。消費量はクイックリファレンスで確認できます。この値は通常の状態です。水硬度が13-16° d Hでの値です。水温や水圧などが要因となり値に誤差が生じることがあります。


プログラム	用途	プログラムの進行	追加機能
<div>AUTO</div> <div>Auto35-45°C</div>	<div>食器:</div> <div>▪ 壊れやすい食器やカトラリー、高温に弱い樹脂製食器やガラス、脚付きのガラス</div> <div>汚れの度合:</div> <div>▪ こびりつきの弱い食べ物の残りを洗浄します。</div>	<div>センサーコントロール:</div> <div>水の汚れに応じて、センサーによって最適化されます。</div>	<div>エクストラドライ</div> <div>→「オプション機能」の項参照 (P16)</div>
<div>AUTO</div> <div>Auto45-65°C</div>	<div>食器:</div> <div>▪ いろいろな種類の食器を洗浄します。</div> <div>汚れの度合:</div> <div>▪ 軽くこびりついた家庭での一般的な食べ物の残りを洗浄します。</div>	<div>センサーコントロール:</div> <div>水の汚れに応じて、センサーによって最適化されます。</div>	<div>すべて</div> <div>→「オプション機能」の項参照 (P16)</div>
<div>AUTO</div> <div>Auto65-75°C</div>	<div>食器:</div> <div>▪ 鍋やフライパン、頑丈な食器</div> <div>汚れの度合:</div> <div>▪ こびりついた汚れやデンプン、たんぱく質による固まった食べ物</div>	<div>センサーコントロール:</div> <div>水の汚れに応じて、センサーによって最適化されます。</div>	<div>すべて</div> <div>→「オプション機能」の項参照 (P16)</div>

プログラム	用途	プログラムの進行	追加機能
 Eco 50°C	食器: <ul style="list-style-type: none"> ▪ いろいろな種類の食器を洗浄します。 汚れの度合: <ul style="list-style-type: none"> ▪ 軽くこびりついた家庭での一般的な食べ物の残りを洗浄します。 	省エネプログラム: <ul style="list-style-type: none"> ▪ 予洗い ▪ 洗浄 50°C ▪ 中間すすぎ ▪ すすぎ 35°C ▪ 乾燥 	すべて →「オプション機能」の項参照 (P16)
 Quick Wash	食器: <ul style="list-style-type: none"> ▪ 壊れやすい食器やカトラリー、高温に弱い樹脂製食器やグラス、脚付きのグラス 汚れの度合: <ul style="list-style-type: none"> ▪ こびりつきの弱い食べ物の残りを洗浄します。 	省エネプログラム: <ul style="list-style-type: none"> ▪ 洗浄 45°C ▪ 中間すすぎ ▪ すすぎ 50°C 	エクストラドライ →「オプション機能」の項参照 (P16)
 Machine Care	庫内を空の状態で使用します。	庫内洗浄 70°C	なし
 パーソナル機能	→「パーソナル機能」の項参照 (P15)	—	—

メモ: Eco50°Cプログラムの運転時間は比較的長くなります。これは洗浄時間と乾燥時間が少し長くなるためですが、消費電力は最適な値となります。




パーソナル機能

プログラムとオプション機能の組み合わせを  ボタンで保存することができます。

 ボタン (初期値): 予洗いプログラム

予洗いはあらゆるタイプの食器に適しています。食器は冷水で軽く洗浄されます。

パーソナル機能の保存




- 1  を押してください。
- 2 適切なプログラムボタンを押してください。→「プログラム」の項参照 (P14~15)
- 3 関連するオプション機能のボタンを押してください。→「オプション機能」の項参照 (P16)
- 4  を約3秒間押してください。
 - ✓ 選択されたプログラムとオプション機能が点滅します。
 - ✓  が点滅します。
 - ✓ プログラムとオプション機能が保存されました。

メモ: 予洗いプログラムに戻すには、工場出荷時の設定に戻す必要があります。→「基本設定の概要」の「工場設定」参照 (P30)

オプション機能

選択可能なオプション機能の概要

機器の仕様によって利用できるオプション機能の種類が異なります。コントロールパネルでご確認ください。

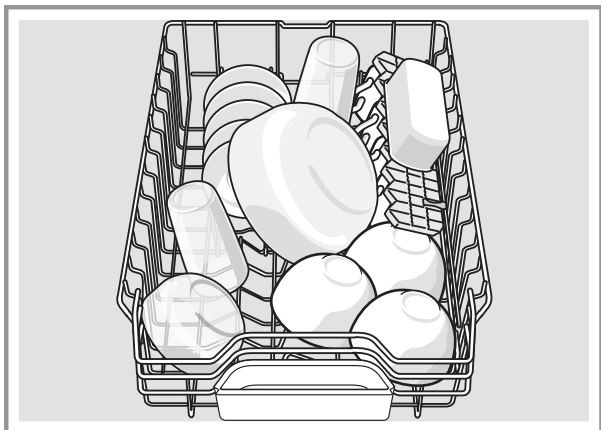
追加機能	用途
 衛生	<ul style="list-style-type: none">▪ 器具や食器の衛生状態を高めるために、温度を上げて長時間維持します。▪ 特にまな板や哺乳瓶の洗浄に適しています。▪ この機能を継続して使用すると、衛生状態が向上します。▪ エネルギー消費量は増加し、運転時間が延長されます。
 エクストラドライ	<ul style="list-style-type: none">▪ 乾燥の仕上がりを良くするため、最終すぎの温度を上げて、乾燥工程の時間が延長されます。▪ 特に樹脂製の食器の乾燥に適しています。▪ エネルギー消費量は少し増加し、運転時間が延長されます。
 ターボ	<ul style="list-style-type: none">▪ すすぎ工程に応じて、運転時間が15%から75%の間で短縮されます。▪ 追加機能は運転開始前やプログラム進行中でも追加することができます。▪ エネルギー消費量と水使用量は増加します。

特徴

機器の機能の概要とその使用方法についてはこちらをご覧ください。(機器のモデルによって、これらの機能は異なります。)

上段バスケット

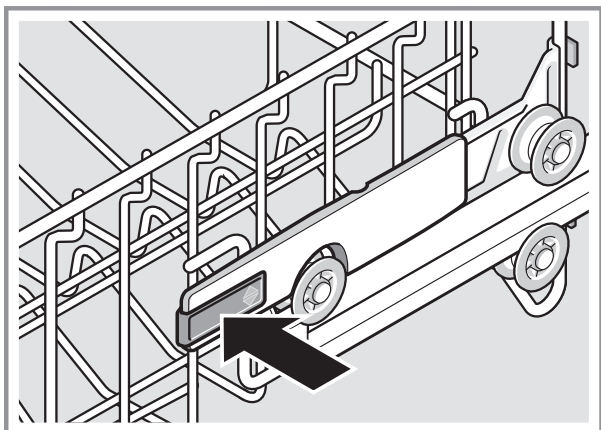
コップやグラスを上段バスケットにセットしてください。



サイドレバーを操作して上段バスケットを調整する

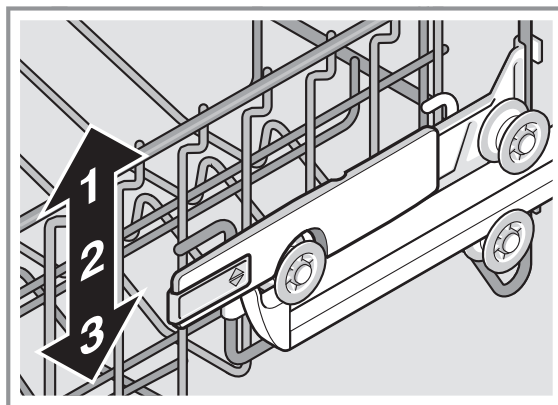
少し大きな食器を上段バスケットにセットするために、バスケットの高さを調整することができます。

- 1 上段バスケットを引いてください。
- 2 バスケットが意図せず落下するのを防ぐため、バスケットの両サイドの上縁を掴んでください。
- 3 バスケットの左右外側のレバーを押してください。



バスケットが少し下に落ちます。

- 4 バスケットを希望に応じて水平に動かして高さを調整してください。→「バスケットの高さ設定」の項参照 (P18)

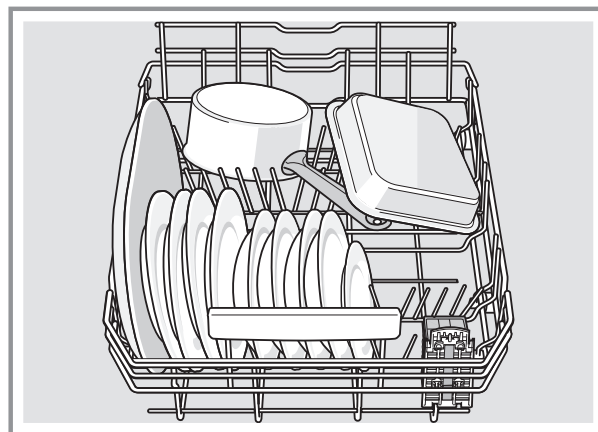


バスケットの両サイドが水平になっているか確認してください。

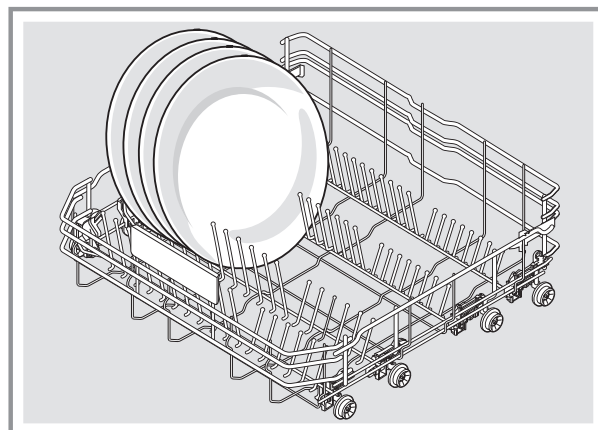
- 5 バスケットを奥に戻してください。

下段バスケット

鍋や皿を下段バスケットにセットします。



直径31cmまでの皿を下段バスケットにイラストのようにセットできます。



バスケットの高さ設定

上段バスケットを適切な高さにセットしてください。

上段バスケットの高さを各設定にした時の上・下段バスケットにセットできるお皿や鍋の最大径 (参考)

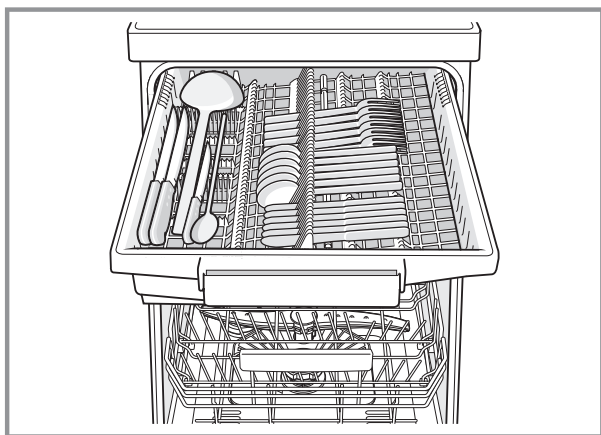
上段バスケットの高さ設定	上段バスケット	下段バスケット
1	16cm	31cm
2	18.5cm	27.5cm
3	21cm	25cm

※お皿やお鍋を各バスケットに置いた後、それらがスプレーアームに干渉しないこと（必ずスプレーアームが回転すること）をご確認ください。

よくある事例：フライパンの取手が下段バスケットの下にはみ出しており、庫内底にあるスプレーアームに干渉し、洗えていない。
下段バスケットに置いたフライパンの取手が、上段バスケット下についているスプレーアームに干渉し、洗えていない。

カトラリートレイ

カトラリートレイにカトラリーをセットします。

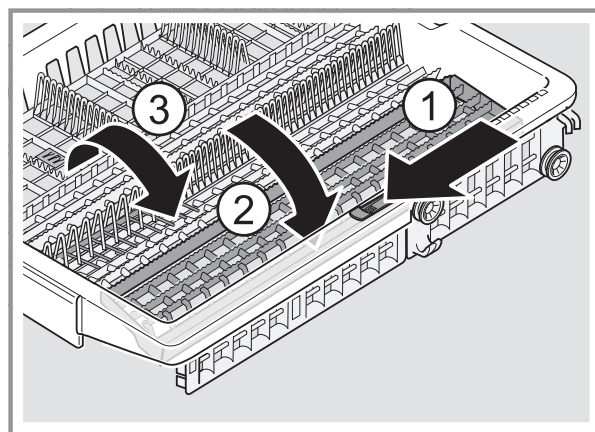


トレイ内の突起を使用して、尖った方を下向きにセットしてください。長いまたは幅の広いカトラリーはトレイを調整してスペースを確保することができます。

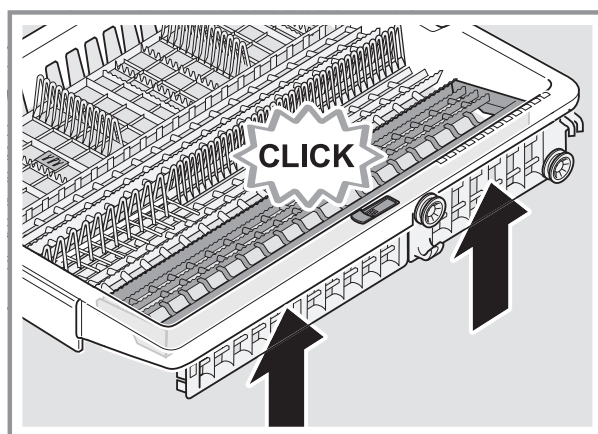
カトラリートレイの調整

側面にあるラックと前方の突起を倒すことによってスペースを広げることができます。

- 1 サイドラックをたたむには、レバー①を手前に押し、ラック②を下げてください。
- 2 前方の突起をたたむには、レバーを手前に押し倒してください。③

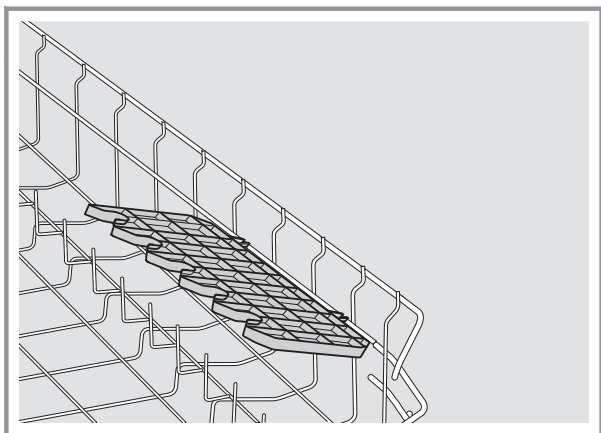


メモ：カトラリートレイを元の状態に戻すには、サイドラックをカチッとするまで上に引いてください。



折りたたみラック

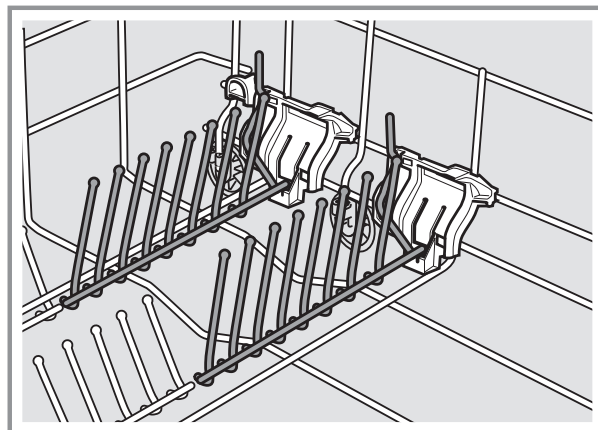
小さなカップやグラス、または、おたまなどの大きめのカトラリーをセットするには、折りたたみラックやその下のスペースを使用します。



必要がない場合は、ラックをたたんでおくことができます。

折りたたみ式仕切りピン

食器をしっかりと固定してセットするために折りたたみ式の仕切りピンを使用します。

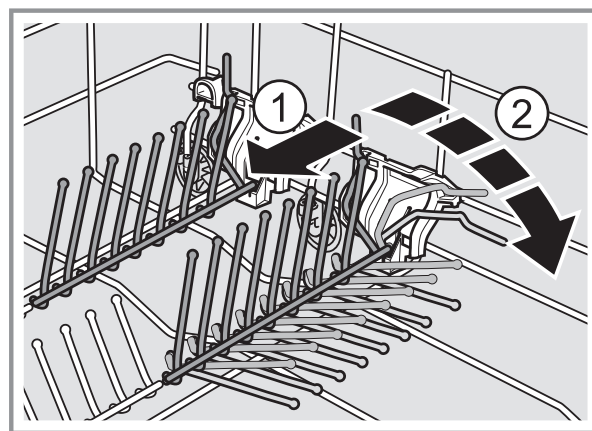


鍋、ボウル、グラスをセットするために仕切りピンを倒すことができます。※機器の仕様により異なります。

折りたたみ仕切りピンをたたむ

必要が無い場合は、仕切りピンをたたんでください。

- 1 レバーを前方へ押して①、ピンをたたんでください。②

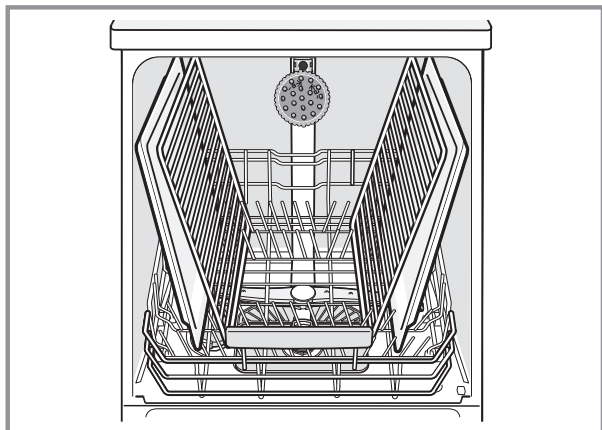


- 2 再度使用する場合は、ピンを起こしてください。

✓ カチッと音がするように立ててください。

スプレーヘッド

大きな食器（例：ベーキングトレイ、グリルトレイなど）を洗浄するには、スプレーヘッドを取付けてください。



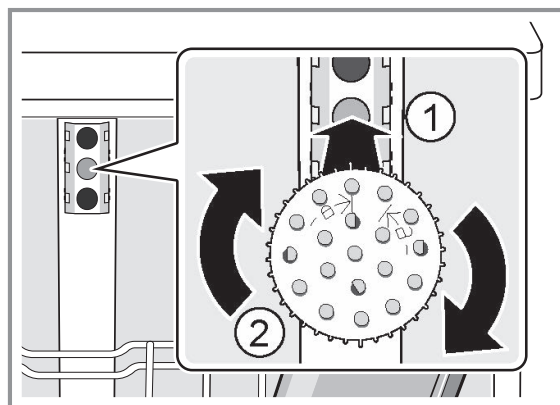
スプレーヘッドの噴射水が庫内全体に広がるように、ベーキングトレイやグリルは最大2枚までをイラストのようにセットしてください。

メモ： 機器を運転するには、必ず上段バスケットかスプレーヘッドのどちらかがセットされた状態でご使用ください。

スプレーヘッドの取り付け

大きなトレイやグリルなどを洗浄する際には、上段バスケットを取り外して、スプレーヘッドを取り付けてください。

- 1 上段バスケットを取り外します。
- 2 ホルダー①にスプレーヘッドを挿入し、右に回してください。
②



✓ スプレーヘッドはカチッと音をたててはまります。

スプレーヘッドの取り外し

スプレーヘッドが必要ない場合は、機器から取り外してください。

- 1 スプレーヘッドを反時計回りに回してホルダーから外してください。
- 2 上段バスケットを取り付けます。

初めてご使用になる前に

初期設定

出荷前点検時に初期設定は実施済みです。
(設定の内容は「基本設定の概要」(P30-31)をご覧ください。)
基本設定>工場設定 を実行された場合、初期設定がクリアされますので、P30-31を参考に設定を行ってください。

必要条件：本機器が適切に設置接続されている。

- 1 軟水塩を補充する。
本製品には軟水装置が内蔵されています。
→国内の上水道はほとんどが軟水のため、初期設定では軟水装置OFF(硬度の設定：H00)に設定しており、軟水塩の補充は不要です。
- 初期設定値：H00＝軟水装置は使わない設定
→もし上水道の硬度が高く内蔵の軟水装置を使用する場合、軟水塩を補充してください →「軟水塩を補充する」の項参照(P23)
また「4 軟水装置を設定する」を実施ください。

- 2 リンス剤を補充する。→「リンス剤を補充する」の項参照(P24)
- 3 機器の電源を入れる。→「機器の電源を入れる」の項参照(P28)
- 4 軟水装置を設定する。→「軟水装置の設定」の項参照(P23)
※軟水装置を使わない場合、設定不要です。
- 5 リンス剤使用量を設定する。→「リンス剤の量を設定する」の項参照(P24)

メモ：これらの設定とその他の「基本設定(P30)」は、いつでも変更することができます。

軟水装置

石灰成分を多く含む硬水は、食器や庫内に石灰成分の付着を発生させることがあります。また機器内の各部品を詰まらせる原因にもなります。より良い洗浄結果を得るために、軟水装置と軟水塩の使用ができます。機器の損傷を防ぐためには、硬度が7°dH以上の水は軟水化する必要があります。

硬度の設定 ※初期設定値：H00(＝軟水装置OFF)




硬度の設定をするために下記のチャートを参考にしてください。
お使いの水道水の硬度に関してはお住いの地域の水道局に問い合わせるか、硬水テスターで計測してください。

水硬度°dH	硬度の度合い	mmol/l	設定値
0～6	軟	0～1.1	H00
7～8	軟	1.2～1.4	H01
9～10	中	1.5～1.8	H02
11～12	中	1.9～2.1	H03
13～16	中	2.2～2.9	H04
17～21	硬	3.0～3.7	H05
22～30	硬	3.8～5.4	H06
31～50	硬	5.5～8.9	H07

メモ：算出した硬度の値で設定してください。
水硬度が0～6°dHの場合は軟水塩無しで、軟水装置のスイッチをオフにすることができます。

軟水装置の設定 ※初期設定値：H00 (=軟水装置OFF)

水の硬度設定を行います。

- 1 水の硬度と適切な設定値を算出してください。
- 2  を押してください。
- 3  3 sec. を約3秒間押して基本設定を表示させてください。
 - ✓ ディスプレイ上に“Hxx”が表示されます。
 - ✓ ディスプレイ上に **set** が表示されます。
- 4 適切な水の硬度が表示されるまで、Start を繰り返し押してください。
工場出荷時は“H04”の値が設定されており、初期設定では“H00”を設定しています。
- 5  3 sec. を約3秒間押すと設定が保存されます。

軟水塩 ※軟水装置がオフの場合、塩の補充は不要です。

硬度の高い水道水を軟水にするために、軟水化させるための塩を使用してください。

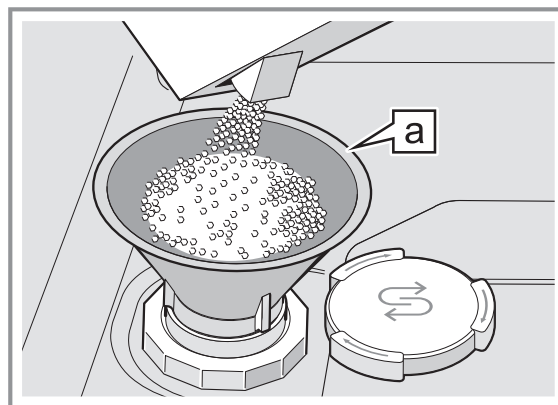
軟水塩を補充する


軟水塩の補充インジケーターが点灯した場合は、プログラムを開始する前にソルトディスペンサーに軟水塩を補充してください。軟水塩の使用量は水の硬度によって異なります。水の硬度が高いほど、軟水塩の必要量は多くなります。

注意!

- 洗剤が軟水装置を損傷する可能性があります。
 - ▶ソルトディスペンサーには軟水化用の塩だけを投入してください。
 - 軟水塩が庫内壁を腐食させる可能性があります。
 - ▶軟水塩が庫内にこぼれてもきれいに洗浄されるように、軟水塩の補充はプログラムを開始する直前にしてください。
- 1 ソルトディスペンサーの蓋を回して外してください。
 - 2 初めて運転をする際は、容器いっぱいに入水してください。

- 3 **注意：**食洗機の軟水化用の塩のみを使用してください。
タブレットの塩は使用しないでください。
食卓塩は使用しないでください。
ソルトディスペンサーに軟水塩を投入してください。






ファネル  ※機器の仕様により異なります。
ディスペンサーを塩で満たしてください。
ディスペンサー内の水は排水されます。

- 4 ディスペンサーに蓋を置いて回して閉めてください。

軟水装置をオフにする

軟水塩の補充インジケーターの点灯が必要ない場合は(例：塩代替成分含有の洗剤を使用する場合)、軟水塩補充インジケーターをオフにすることができます。

メモ：器への損傷を防ぐために、軟水装置のスイッチを切るのは下記の場合のみにしてください。

- 水硬度が21°dH以下で、かつ塩代替成分含有の洗剤を使用している。洗剤メーカーによれば塩代替成分含有の洗剤は塩無しでは水の硬度が21°dH以下でしか使用できません。
 - 水硬度が0～6°dHでは、軟水塩は必要ありません。
- 1  を押してください。
 - 2  3 sec. を約3秒間押して基本設定を表示させてください。
 - ✓ ディスプレイ上に“Hxx”が表示されます。
 - ✓ ディスプレイ上に **set** が表示されます。
 - 3 “H00”が表示されるまで Start を繰り返し押してください。
 - 4  3 sec. を約3秒間押すと設定が保存されます。
 - ✓ 軟水装置はオフになり、塩補充インジケーターも無効になりました。

リンス剤

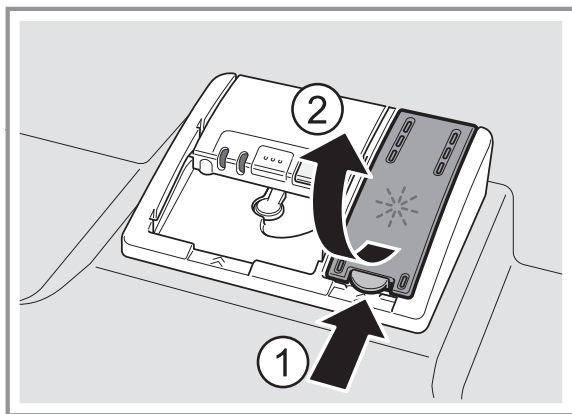
リンス剤を使用することによって、食器やガラス表面にシミが残らずキレイに仕上げることができます。

最適な乾燥結果を得るために、リンス剤を使用してください。
必ず家庭用の食器洗い機専用リンス剤を使用してください。

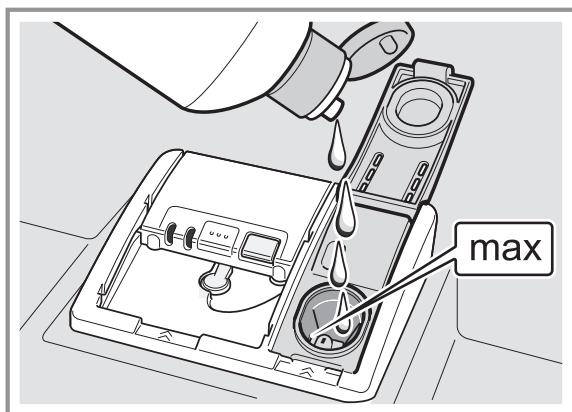
リンス剤を補充する

ディスプレイにリンス剤補充インジケーターが点灯している場合、リンス剤を補充してください。必ず家庭用の食器洗い機専用リンス剤を使用してください。

- 1 ドアを全開に開いた状態で、リンス剤ディスペンサーのカバーにあるキャッチ①を押してカバーを開けてください。②



- 2 [max] の位置までリンス剤を補充してください。



- 3 リンス剤がこぼれた場合はきれいに拭き取ってください。こぼれたリンス剤が庫内に残っていると、洗浄時に過度の泡立ちが発生し、洗浄不良や機器の不具合の原因になります。
- 4 リンス剤ディスペンサーのカバーを閉じてください。
 - ✓ カバーはカチッと閉まります。

リンス剤の量を設定する

食器表面に水垢等が残っている場合は、リンス剤の投入量を変更してください。

- 1 を押してください。
- 2 3 sec. を約3秒間押して基本設定を表示させてください。
 - ✓ ディスプレイ上に“Hxx”が表示されます。
 - ✓ ディスプレイ上に **set** が表示されます。
- 3 ディスプレイ上に“r xx”が表示されるまで、 3 sec. を繰り返し押し続けてください。
- 4 適切なリンス剤使用量が設定されるまで、Start を繰り返し押してください。
 - 数値を下げると、洗浄中のリンス剤投入量が減少し、食器表面の条痕が減ります。
 - 数値を上げると、洗浄中のリンス剤投入量が増加し、水垢が減少し、乾燥結果が向上します。
- 5 3 sec. を約3秒間押すと設定が保存されます。

リンス剤ディスペンサーをオフにする

リンス成分含有の洗剤を使用する場合など、リンス剤補充インジケーターが必要ない場合は、リンス剤ディスペンサーをオフにすることができます。

メモ：リンス剤入りの混合洗剤を使用する場合、リンス剤の効能は限定されてしまいます。通常の場合、リンス剤を使用した方がより良い乾燥結果を得られます。

- 1 を押してください。
- 2 3 sec. を約3秒間押して基本設定を表示させてください。
 - ✓ ディスプレイ上に“Hxx”が表示されます。
 - ✓ ディスプレイ上に **set** が表示されます。
- 3 初期設定値“r04”が表示されるまで、 3 sec. を繰り返し押し続けてください。
- 4 ディスプレイに“r00”が表示されるまで、Start を繰り返し押してください。
- 5 3 sec. を約3秒間押すと設定が保存されます。
 - ✓ リンスディスペンサーがオフになり、リンス剤補充インジケーターも無効になりました。

洗剤

ご使用の機器に適した食洗機専用洗剤をご使用ください。

注意：中性洗剤を使用すると水漏れエラーが発生するので絶対に使用しないでください。予洗いでも使用しないでください。ごく少量お皿に付着した状態でも水漏れが発生します。中性洗剤による水漏れエラーの場合、補償期間内であっても補償対象外となります。

適切な洗剤の使用

食洗機専用洗剤をご使用ください。通常の洗剤でも混合洗剤でもご使用になれます。最適な洗浄結果と乾燥結果を得るには、単独の洗剤と軟水塩、リンス剤をそれぞれ個別に使用してください。

最新の洗剤は主に酵素入りの低アルカリ性の洗剤です。酵素はデンプンを分解し、たんぱく質を取り除きます。色シミ（茶渋、ケチャップなど）を取るには、酸素ベースの漂白剤を使用するのが一般的です。

メモ：いずれの洗剤においても、メーカーの取扱指示に従ってください。

洗剤	説明
タブレット	タブレットはすべての洗浄工程に適しており、また使用量を計量する必要がありません。 時間の短いプログラムを選択すると、タブレットが完全に溶けないことがあり、洗剤が残ってしまうことがあります。これにより洗浄結果が損なわれることがあります。
粉末洗剤	運転時間の短いプログラムには粉末洗剤を推奨します。また、汚れの度合いに応じて洗剤量を調整できます。
液体洗剤	本製品の洗剤ディスペンサーの蓋は液体洗剤に対応していません。そのためドアを閉めると液体洗剤は蓋から流れ落ちます（機器の不具合ではありません）。通常のプログラムの場合、予洗い後の排水で洗剤も排水されるため使用できませんが、一部プログラムでのみ使用可能です。 下記に注意してください。 ■ QuickWashプログラムを選択してください。 ■ タイマープログラムを選択しないでください。 汚れの度合いに応じて洗剤量を調整できます。

ソロ洗剤について

ソロ洗剤とは洗浄成分以外の混合物が含まれていない洗剤（粉末・液体）のことです。

粉末や液体の洗剤は汚れの度合いに応じてそれぞれ洗剤の量を調整できます。

より良い洗浄結果と乾燥結果を得るためには、軟水塩とリンス剤を併せてご使用ください。

混合洗剤

従来のソロ洗剤の他に、追加の効用を備えた混合洗剤も販売されています。これらの製品は、洗浄成分の他にリンス剤および軟水塩代替成分が含まれている（3in1）ことが多く、組合せ（4in1, 5in）によってはガラス保護剤やステンレス洗浄剤が含まれていることもあります。

製造メーカーによれば、このような混合洗剤は、通常、水硬度が21° dH以下でのみ有効となります。水硬度が21° dHを超える場合は、別途軟水塩とリンス剤を使用する必要があります。

水硬度が14° dH以上では軟水塩とリンス剤の使用を推奨します。混合洗剤をご使用の場合、最適な洗浄結果および乾燥結果を得るために、洗浄プログラムは自動的に調整されます。

不適切な洗剤

機器に損傷を与えたり、健康に害のある洗剤は使用しないでください。

洗剤	説明
手洗い用洗剤（中性洗剤）	中性洗剤はごく少量でも過度に泡立つため、水漏れが発生し、機器損傷の原因となることがあります。
塩素入り洗剤	食器に付着する塩素成分が健康被害を引き起こす原因となる恐れがあります。

洗剤の指示・説明文に従ってご使用ください。

■ “オーガニック”や“環境にやさしい”と記載されている洗剤は、通常洗剤成分がわずかしが入っていないなかったり、特定の物質を全く使用していないことがあります。

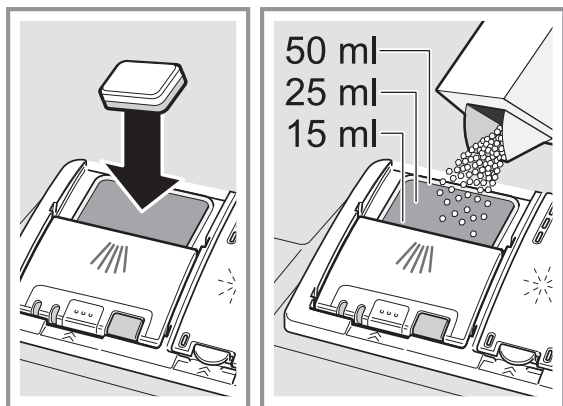
それらの洗剤は洗浄効果が限られたものになる可能性があります。

■ お使いのソロ洗剤または混合洗剤に合わせてリンス剤と軟水装置の設定を行ってください。

- メーカーによれば、塩代替成分入りの洗剤は、特定の水硬度（通常は21° dH以下）でしか使用できません。最良の洗浄結果および乾燥結果を得るために、水硬度が14° dH以上では軟水塩およびリンス剤の使用を推奨します。
- 引っ付いてしまうを防ぐため、水溶性のカプセルに入った洗剤は、乾いた手で取り扱い、洗剤ディスペンサーが乾いた状態で洗剤を投入してください。
- リンス剤補充インジケーターと軟水塩補充インジケーターが点灯していても、混合洗剤を使用すれば洗浄プログラムは正常に進行します。
- 混合洗剤のリンス剤効果は限定的になります。通常は個別のリンス剤を使用した方がより良い洗浄結果を得ることができます。
- 特別な乾燥効果があるタブレットを使用してください。

洗剤を補充する

- 1 ラッチを押して洗剤ディスペンサーのカバーを開けてください。
- 2 乾いた洗剤ディスペンサーに洗剤を補充してください。



タブレットを使用する場合で、通常の汚れの場合は、以下を参考にしてください。

- 大きいタブレット（約10～15g）：1つ
- 小さいタブレット（約5g）：3つ以上

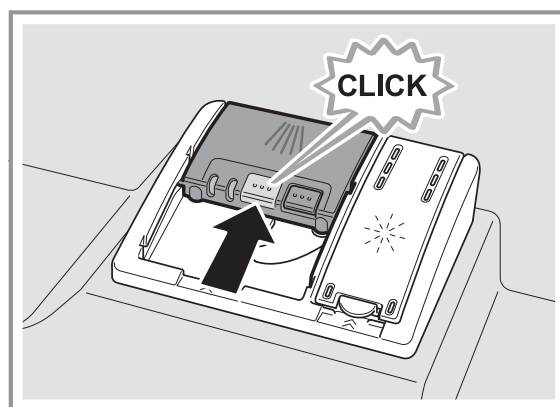
大きいタブレットは横向きにセットしてください。

小さいタブレットは無理に詰めないでください。溶け残りの原因になります。

粉末洗剤または液体洗剤を使用する場合は、メーカーの指示と洗剤量に従って洗剤を補充してください。

通常の汚れ具合であれば20mlから25mlの洗剤量で十分です。また、軽い汚れの場合、記載された洗剤量よりも若干少なくなります。

- 3 洗剤ディスペンサーのカバーを閉めてください。



- ✓ カバーはカチッと音を立てて閉まります。
- ✓ 洗剤ディスペンサーは洗浄サイクル中に、最適なタイミングで自動的に開きます。粉末洗剤や液体洗剤は庫内に広がって溶けます。タブレットはタブレットトレイに落ちてから溶けます。タブレットがきちんと均一に溶けるように、タブレットトレイには何も入れないでください。

タブレットトレイ→ P10～11 **6** 参照

メモ： 予洗いのあるプログラムを粉末洗剤を使用して運転する場合は、庫内ドアの部分に少量の洗剤をかけて追加することができます。

食器

食器洗い機の洗浄に適した食器のみを洗浄してください。

メモ： 装飾のあるガラスやアルミや銀で作られた部分は、色が褪せたり変色する可能性があります。繊細なガラスは洗浄を繰り返すと、くもりが発生することがあります。

グラスおよび食器の損傷

グラスや食器へのダメージを避けるために、下記項目にご注意ください。

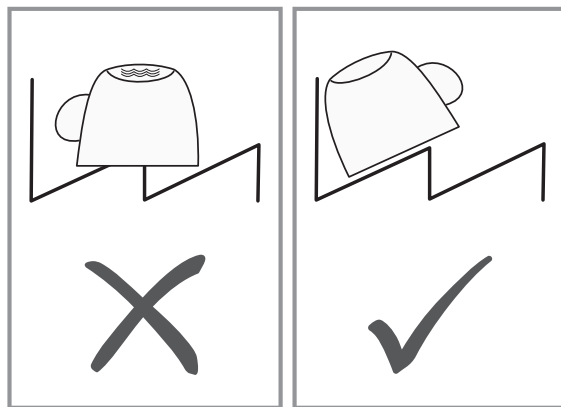
原因	対処
下記の食器は食器洗い機洗浄に適していません。 ■ 木製のカトラリーや食器 ■ 装飾されたガラス製品やアンティーク食器、工芸品 ■ 耐熱性ではない樹脂製の食器 ■ 銅やスズ製の食器 ■ 灰、ろう、潤滑グリース、塗料などで汚れた食器 ■ 極めて小さな食器類	製造メーカーが食洗機洗浄に適していると表示している食器のみを洗浄してください。
グラスや食器が食洗機洗浄に適していない。	製造メーカーが食洗機洗浄に適していると表示している食器のみを洗浄してください。
洗剤の化学成分が損傷の原因となっている。	製造メーカーが食洗機洗浄に適していると表示している食器のみを洗浄してください。
業務用または商業用の強刺激性のアルカリ成分や強酸性洗剤はアルミニウム製の部品との関連で食洗機洗浄には適していません。	業務用または商業用の強刺激性のアルカリ成分や強酸性洗剤を使用する場合は、庫内にアルミニウム製のものを入れないでください。
プログラムの洗浄温度が高すぎる。	洗浄温度が低いプログラムを選択してください。 プログラム終了後は、ただちに食器やカトラリーを庫内から出してください。

食器をセットする

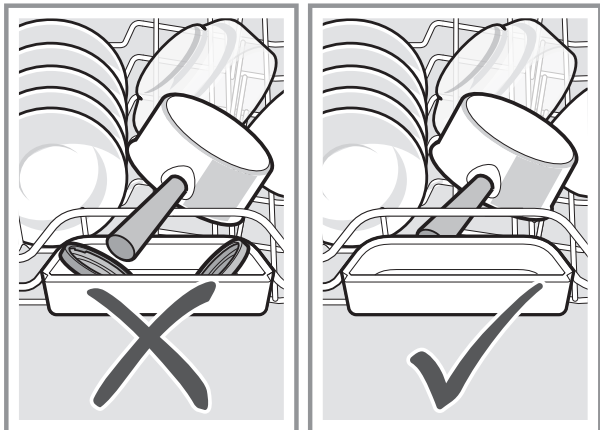
最適な洗浄結果を得るため、また機器や食器の損傷を防ぐために、食器は正しくセットしてください。

メモ：

- 食器洗い機を使用することにより、手洗いに比べて省エネ・節水ができます。
- 効率的に食器をセットするためのサンプル例は弊社ウェブサイトでご確認ください。
- 省エネ・節水のために、記載の洗浄容量の食器をセットしてください。
- 最良の洗浄結果と乾燥結果を得るために、食器はバスケットの形状に合わせてセットし、水が溜まらず流れるようにしてください。



- 1 食器から食べ残しの固形物を取り除いてください。
臭いの強い物（カレー、ソース類、焼き魚の油など）は、お湯で事前に洗い流すと、洗った後の色移り、臭い残りを抑えることができます。
- 2 食器をセットする際は下記に注意してください。
 - － 汚れのひどい食器は下段バスケットにセットしてください。（例：フライパンなど）スプレーから出る水圧が強いのので、より良い洗浄結果が得られるでしょう。
 - － 食器の損傷を防ぐため、食器が傾かないように安定した状態でセットしてください。
 - － ケガをしないように、カトラリーはいつも尖った方を下に向けてセットしてください。
 - － 食器や器の開口部は、中に水が溜まらないように下に向けてセットしてください。
 - － スプレーアームの回転を妨げないでください。何にも当たらずに回転できることを確認してください。
 - － タブレットトレイに小さなものを置いたり、食器でふさいだりしないでください。洗剤ディスペンサーのカバーが開くことに支障があります。



食器を取り出す

⚠ 警告 ケガの危険!

高温の食器は皮膚に火傷を引き起こす原因となります。また熱を持った食器は衝撃に弱く、破損してケガにつながる可能性があります。

- ▶ プログラム終了後は、食器が冷めてから取り出してください。
- 1 水滴が食器にかかるのを防ぐため、食器を取り出す際は、下段から順に取り出してください。
- 2 庫内やアクセサリに汚れが無いかチェックして、必要があればきれいにしてください。

基本操作

機器のドアを開ける

- 1 ドアノブを手前に引いてください。

機器の電源を入れる

- ▶  を押してください。

標準のプログラムがあらかじめ設定されています。

10分間いかなる操作もされなかった場合、電源は自動的にオフになります。

プログラムの設定

食器の汚れ具合に合わせて洗浄するため、適切なプログラムを選択してください。

- ▶ 適切なプログラムのボタンを押してください。→「プログラム」の項参照 (P14-15)
- ✓ プログラムが設定されるとプログラムボタンが点滅します。

オプション機能を設定する

洗浄プログラムに追加の機能を設定することができます。

メモ：プログラムによって選択できるオプション機能は異なります。→「プログラム」の項参照 (P14-15)

- ▶ 希望するオプション機能のボタンを押してください。→「オプション機能」の項参照 (P16)
- ✓ オプション機能が設定されると、オプション機能のボタンが点滅します。

タイマープログラムを設定する

プログラムの開始時間を24時間まで遅らせることができます。

1 ① を押してください。

✓ ディスプレイに“h:01”が表示されます。

2 ① により希望のプログラムスタートを設定します。

3 Start を押します。

✓ タイマープログラムが有効になりました。

メモ： ディスプレイに“h:00”が表示されるまで、繰り返し①を押すことによって、タイマープログラムをキャンセルできます。

プログラムをスタートする

▶ Start を押してください。

ボタンの点滅が点灯に変わりプログラムが開始し、ディスプレイに表示されている残り時間のカウントダウンが開始します。
※Startして数分後に給水が開始します。

✓ プログラムが終了すると、ディスプレイに“0h:00m”が表示されます。

メモ：

■ 運転中に食器を追加したい場合、タブレットトレイをハンドルとして使用しないでください。溶けかけのタブレットに触れてしまう恐れがあります。

■ プログラムをスタートすると、キャンセルをしない限り、運転が終了するまでプログラムの変更はできません。
プログラムを変更したい場合は、「プログラムのキャンセル(P29)」を行った後、プログラムを再選択しスタートしてください。

■ 省エネのために、プログラムが終了して1分後に自動的に電源が切れます。プログラムが終了してすぐにドアを開けると、約4秒後に電源が切れます。

ボタンロックを有効にする

ボタンロックは、機器が作動中に望まない、または不適切な操作を防止します。

1  を約3秒間押してください。

✓ ボタンロックが有効になり、プログラム終了と同時に自動的に無効になります。

✓ 機器が作動すると、ディスプレイの  が点滅します。

✓ 停電の場合、ボタンロックは有効性が維持されます。

プログラムの中断（一時停止）

プログラム運転中にドアを開くとプログラムが中断（一時停止）します。ドアを閉めると自動で運転が再開されます。

また、プログラム運転中に電源ボタンを押す（電源をOFFする）と、プログラムはキャンセルされず中断されます。

電源ボタンを押す（電源をONする）と自動で運転が再開されます。

注意：

プログラムスタート後、なるべくドアは開けないでください。

プログラムは「予洗い→洗浄→すすぎ→乾燥」の工程で進行します。

（Quick Washの場合、予洗い工程はなく洗浄から開始します）

洗浄やすすぎの工程でドアを開けると、高温のお湯のシャワーが飛び出てくることがあり、火傷をする可能性がありますのでドアを開けないでください。

プログラムをキャンセルする

プログラムを早めに終了したり、スタートしたプログラムを変更するには、一度プログラムをキャンセルしてください。

▶ Reset 4 Sec を約4秒間押してください。

✓ すべてのディスプレイが点灯します。

✓ ディスプレイが一度オフになり、ディスプレイに“0h:01m”と表示され、残っている水が排出されます。

✓ プログラムはキャンセルされ、約1分後に終了します。

機器の電源を切る

1 「安全上の注意」の項参照 (P4)

2 ① を押してください。

メモ： プログラムの運転中に①を押した場合、進行中のプログラムは中断されます。

再度電源を入れるとプログラムは自動的に再開されます。

基本設定の概要

基本設定はお使いの機器の仕様により異なります。

基本設定	ディスプレイ	選択	説明
水硬度	H00 ※	H00 - H07	水の硬度を設定します。 →「硬度の設定」の項参照 (P22)
リンス剤	r03 ※	r00 - r06	リンス剤の投入量を設定します。 →「リンス剤の量を設定する」の項参照 (P24) “r00” ステージによって、リンス剤ディスペンサーをオフにします。
エクストラドライ	d01 ※	d00 - d01	すすぎ洗い時には温度が上昇し、それによってより良好な乾燥結果が達成されます。その場合、運転時間が若干長くなることがあります。 メモ: 傷つきやすい食器には適していません。 エクストラドライのスイッチをオンにする→"d01" エクストラドライのスイッチをオフにする→"d00"
温水接続	A00 ※	A00 - A01	冷水接続または温水接続を設定します。本機器は、温水が適切に熱エネルギー処理し、適切な設置（循環ライン付き太陽光システムなど）が試用できる場合に限り、温水に設定することができます。水温は最低40℃～最高60℃が推奨されます。 メモ: 冷水接続が推奨です。 温水のスイッチをオンにする→"A01" 温水のスイッチをオフにする→"A00"
エモーションライト	E02 ※	E00 - E02	庫内灯のオンまたはオフの設定をします。 ■ “E00” の設定時、庫内灯のスイッチがオフになっています。 ■ “E01” の設定時、オン/オフボタン  により庫内灯を有効にすることができます。 ■ “E02” の設定時、機器のドアを開けた時に庫内灯が点灯します。 機器のドアが10分間開いたままになると、庫内灯は自動的にオフになります。
工場設定	rE	rE表示状態で Startを押し選択 ↓ YESが表示されるので Startを押し実行	変更した設定を、工場出荷時の設定にもどします。 カスタマイズ機能設定も予備洗いプログラムにもどります。 推奨設定を参考に基本設定を必ず実施してください。 推奨設定は、「推奨設定」(P31) を参考にしてください。

※ 初期設定（機器の型式により異なることがあります。）

基本設定	ディスプレイ	選択	説明
ドアオートオープン機能	o01	o00 - o02	<p>ドアオートオープン機能をオン / オフに設定できます。</p> <p>■ “o00” の設定時、オートオープンはオフになっています。</p> <p>■ “o01” の設定時、オートオープンはオンになっています。</p> <p>■ “o02” の設定時、オートオープンはプログラム Eco50℃においてのみオンになっています。</p> <p>この機能をオンにすると所要時間が長くなることがあります。</p>
フィルターシステム 洗浄用ノズル	FC1	r00 - r06	<p>フィルターシステムの洗浄ノズルをオン / オフに設定できます。</p> <p>■ “FC0” の設定時、洗浄ノズルはオフになっています。</p> <p>■ “FC1” の設定時、洗浄ノズルはオンになっています。</p>

【推奨設定】

水硬度 : H00
 リンス剤 : r03
 エクストラドライ : d01
 温水接続 : A00
 エモーションライト : E02
 ドアオートオープン : o01
 洗浄用ノズル : FC1

基本設定の変更

- 1 ① を押してください。
- 2 ③ 3 sec.を約3秒間押して基本設定を表示させてください。
 - ✓ ディスプレイ上に “Hxx” が表示されます。
 - ✓ ディスプレイ上に **set** が表示されます。
- 3 ディスプレイに希望の設定が表示されるまで、③ 3 sec.を繰り返し押ししてください。
- 4 ディスプレイに適切な値が表示されるまで、Start を繰り返し押ししてください。
何度も設定を変更することができます。
- 5 ③ 3 sec.を約3秒間押すと設定が保存されます。

クリーニングとメンテナンス

機器を長期間お使いになれるように、慎重にクリーニングとメンテナンスを行ってください。

庫内を洗浄する

警告

健康を害する危険!

塩素を含んだ洗剤を使用すると健康に被害が発生することがあります。

- ▶ 塩素を含んだ洗剤は絶対に使用しないでください。
 - ▶ 食器用洗剤（タブレットまたは粉タイプ）でも簡易的な庫内洗浄が可能です。
- 1 庫内の大きな汚れは湿らせた布で除去してください。
 - 2 洗剤を洗剤ディスペンサーに投入してください。
 - 3 温度が最も高いプログラムを選択してください。
 - 4 庫内が空の状態プログラムをスタートしてください。

Machine Care

食べ物の残りや石灰成分の沈着は、機器の故障の原因となることがあります。機器の不具合や臭気の発生を防止するために、定期的なお掃除をお勧めします。

洗浄剤を使用してMachine Careプログラムを運転することが、機器にとって適したお手入れ方法になります。

特にEco50°を普段使用している方や洗浄力の弱い洗剤を使用している方は、定期的なお掃除をお勧めいたします。

庫内洗浄剤

庫内の洗浄に適した洗浄剤のみを使用してください。

→「安全上の注意」の項参照（P4）

専用の庫内洗浄剤は弊社オンラインストア（ntecstore.jp）で購入いただけます。

機器のお手入れに関するヒント

お使いの機器がきちんとお手入れできるように、下記の項目をご確認ください。

処置

効果

ドアパッキンや食洗機の前面、コントロールパネルは各部を清潔かつ衛生的に保ちます。湿らせた布と洗剤などで定期的に拭いてください。

機器をしばらくの間運転しない場合は、ドアを少し開けた状態にしておいてください。不快な臭気の発生を防ぎます。

メモ：

Machine Careは1度の洗浄サイクルで汚れ・残渣物を除去するプログラムです。

2段階の洗浄工程があります。

段階	対象	洗剤	投入場所
1	油脂+石灰成分	庫内洗浄剤（液体）	液体：カトラリーバスケットに逆さに挿す
	石灰成分	粉末の洗剤（ディスクレー）※	粉末：庫内に散布
2	食べ物の残渣物	粉末洗剤※	庫内に散布

※オンラインストアでの販売はしておりませんので、別途お問い合わせください。

最適な洗浄能力を発揮するために、プログラムは段階に応じた洗剤の投入方法を選択します。目的に応じた正しい洗剤の準備をお願いします。

コントロールパネルのMachine Careライトが点灯するかディスプレイに通知が出た場合、庫内を空にしてMachine Careプログラムを運転してください。Machine Careプログラムを実施するとライトが消灯します。ご使用の機器にこのリマインダー機能が搭載されていない場合は、2か月に1回はMachine Careプログラムを実行してください。

Machine Careを運転する

コントロールパネルのMachine Careライトが点灯するかディスプレイに通知が出た場合、庫内を空にしてMachine Careプログラムを運転してください。

メモ：

- Machine Careプログラムを実行せず3回洗浄サイクルを運転すると、Machine Careライトは自動的に消灯します。
- Machine Careプログラムを実行する前に、庫内から食器類を全て出してください。
- 食器洗い機専用の機器洗浄剤のみを使用してください。
- 庫内にアルミ製品（例：レンジフードのフィルター、アルミ鍋等）が無いことを確認してください。
- 最適な洗浄結果を得るために、洗剤が正しくセットされていることを確認してください。
- 機器洗浄剤に記載されている使用方法を遵守してください。

1 庫内の目立つ汚れは湿った布で拭き取ってください。

2 フィルターを清掃してください。

3 機器洗浄剤を洗剤の適した場所に入れてください。
※他の洗剤は一緒に入れないでください。

4 を押してください。

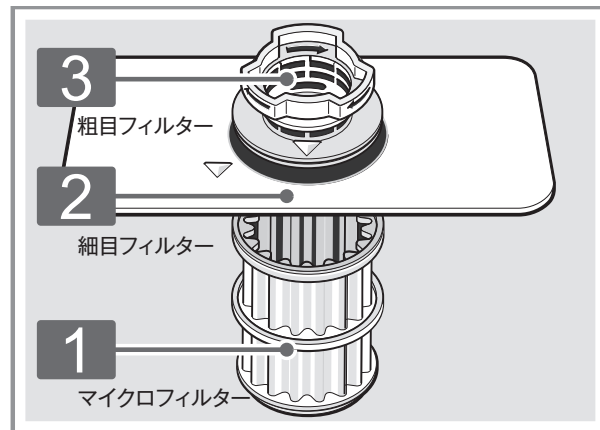
5 Start を押してください。

✓ Machine Careが運転されました。

✓ プログラムが終了すると、Machine Careのインジケーターが消灯します。

フィルターシステム

フィルターシステムは洗浄中に庫内の固形物・汚れを取り除きます。



フィルターシステム洗浄用ノズル

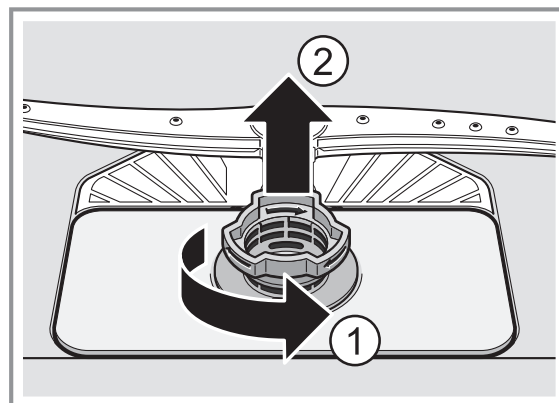
この機種にはフィルターシステム部を洗浄するノズルがあります。洗浄用ノズルは、排水フィルターを手洗いする手間を減らしてくれます。

→“基本設定の概要”でオンまたはオフの設定ができます。(P31)

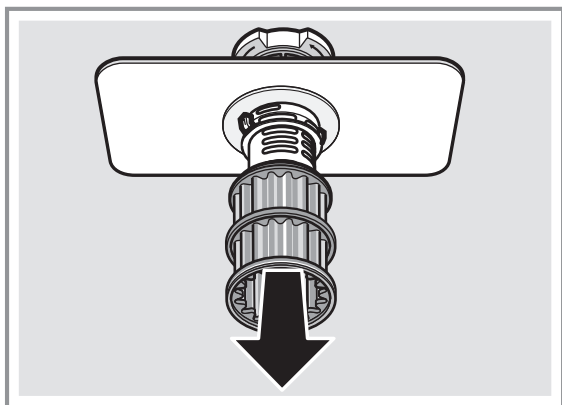
フィルターの洗浄

洗浄水の汚れがフィルターが目詰まりを起こします。

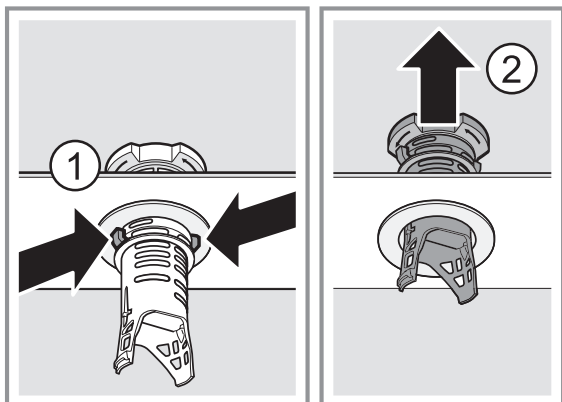
- 1 食洗機を使用する毎にフィルターが汚れていないかチェックしてください。
- 2 粗目フィルターを反時計回りに回して①、フィルターシステムを外してください。②
→庫内底部の水たまり部に食べ物カス等が無いかチェックしてください。



- 3 マイクロフィルターを下方方向に外してください。



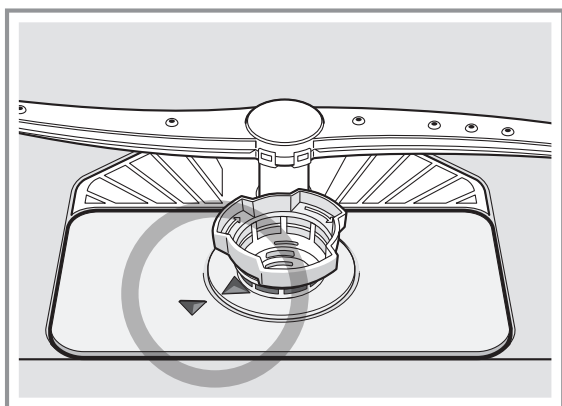
- 4 ロックキャッチ①を同時に押して、粗目フィルターを抜いてください。②



- 5 流水でフィルターを洗い流してください。粗目フィルターと細目フィルターの間の汚れもきちんと洗ってください。

- 6 フィルターシステムを組み立ててください。粗目フィルターのロックキャッチがきちんとかみ合っているか確認してください。

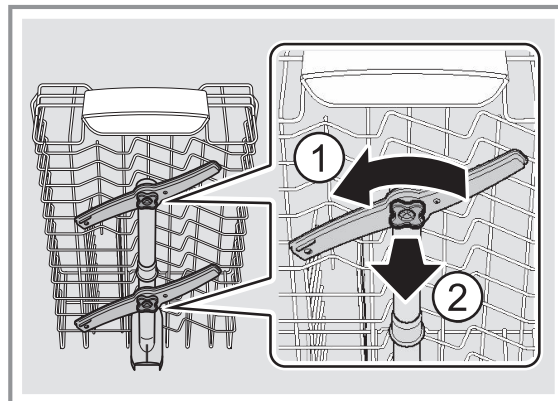
- 7 フィルターシステムを庫内にセットして時計回りに回して取り付けてください。
矢印の印が揃っており、抜けないことを確認してください。



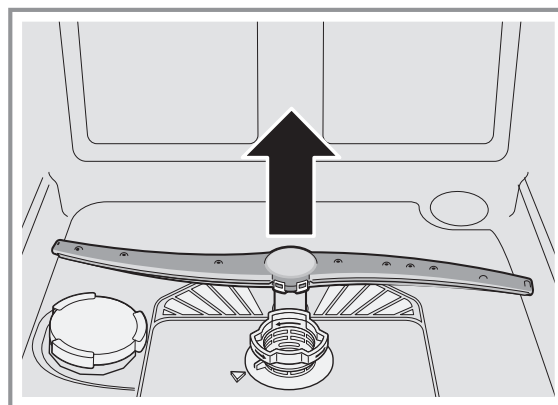
スプレーアームを洗浄する

石灰成分や洗浄水中の汚れはスプレーアームのノズルや回転部を詰まらせることがあります。スプレーアームは定期的に清掃してください。

- 1 上段スプレーアームを緩めて①、下に外してください。②



- 2 下段スプレーアームを持上げて外してください。



- 3 スプレーアームの噴出口が詰まっていないか確認して、流水で洗い流してください。

- 4 下段スプレーアームを戻してください。

- ✓ スプレーアームをカチッとはめてください。

- 5 上段スプレーアームをセットしてきっちりと締めこんでください。

故障かなと思ったら

不具合のいくつかは、お客様ご自身で解決できることがあります。修理をご依頼する前に下記の項目をご確認ください。
それにより修理代や出張費用などの不要な出費を回避できます。

警告

感電の恐れがあります！

不適切な修理作業は危険です。

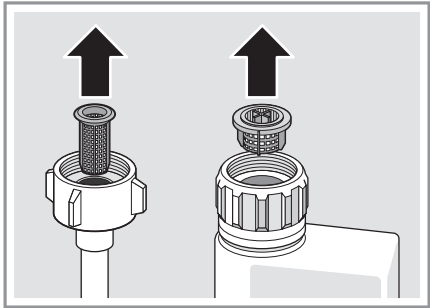

- ▶ 正式な認定を受けた修理従事者のみが修理作業を実施できます。
- ▶ 本機器を修理する際は、必ず純正の交換部品のみを使用してください。
- ▶ 本機器の電源コードが損傷した場合は、メーカーまたはその正規代理店から入手した専用のコードと交換しなければなりません。

エラーコード/エラー表示/シグナル

不具合	原因	対処
E:21-30が 交互に表示される。	ゼオライトの吸気口が 食器によってふさがれています。	▶ 食器の位置に注意しながら再度セットして、吸気口が塞がれていない状態にしてください。
E:20-60が 交互に表示される。	ヒーターへの石灰成分の付着が 検出された。	1 カルキを除去してください。 2 軟水装置を使って機器をご使用ください。※
E:30-00が 交互に表示される。	水漏れ防止機能が作動している。	1 止水栓を閉めてください。 2 カスタマーサービスに連絡してください。
E:31-00が 交互に表示される。	水漏れ防止機能が作動している。	1 止水栓を閉めてください。 2 カスタマーサービスに連絡してください。
E:34-00が 交互に表示される。	機器に常時水が給水されている。	1 止水栓を閉めてください。 2 カスタマーサービスに連絡してください。

※ 機器の仕様により異なります。

エラーコード/エラー表示/シグナル

不具合	原因	対処
E:32-00が 交互に表示される。 または 給水接続のインジケータが点灯する。	給水ホースが折れ曲がっている。	▶ 給水ホースを修正して設置してください。
	止水栓が閉まっている。	▶ 止水栓を開いてください。
	止水栓が詰まっている。	▶ 止水栓を開いてください。流量は10L/分以上が必要です。
	給水ホースやアクアストップのフィルターが詰まっている。	<ol style="list-style-type: none"> 1 機器の電源を切ってください。 2 電源コードを抜いてください。 3 止水栓を閉めてください。 4 給水ホースを外してください。 5 給水ホースからフィルターを外してください。  <ol style="list-style-type: none"> 6 フィルターを清掃してください。 7 給水ホースにフィルターをセットしてください。 8 給水ホースを接続してください。 9 給水接続部に水漏れがないか確認してください。 10 電源を接続してください。 11 機器の電源を入れてください。
E:92-40が 交互に表示される。	フィルターが汚れている、 詰まっている。	<p>▶ フィルターを清掃してください。→「フィルターの洗浄」の項参照 (P33-34)</p>  <p>◀ 参考動画</p>
E:61-03が 交互に表示される。 水が排水されていない。	排水ホースが詰まっている、 または折れ曲がっている。	<ol style="list-style-type: none"> 1 排水ホースを修正してください。 2 詰まりを除去してください。
	排水ポンプのカバーが緩んでいる。	▶ 排水ポンプのカバーをはめ込みます。→「排水ポンプを洗浄する」の項参照 (P47)

不具合	原因	対処
E:61-02が 交互に表示される。	排水ポンプに詰まりがある。	▶ 排水ポンプを洗浄してください。→「排水ポンプを洗浄する」の項参照 (P47)
	排水ポンプのカバーが緩んでいる。	▶ 排水ポンプのカバーをはめ込みます。→「排水ポンプを洗浄する」の項参照 (P47)
		 ◀ 参考動画
E:90-01が 交互に表示される。	電圧が低すぎる。	これは機器の不具合ではありません。 1 電気技師に依頼してください。 2 電源供給と設備についてのチェックを依頼してください。
ディスプレイにその他の エラーコードが表示される。 E:01-00 - E:90-10	技術的な不具合。	1 ㊦を押してください。 2 電源コードを抜くか、ブレーカーを切ってください。 3 少なくとも2分間待ってください。 4 電源コードを差し込む、またはブレーカーを入れてください。 5 機器の電源を入れてください。 6 不具合が再発する場合、 — ㊦を押してください。 — 止水栓を閉めてください。 — 電源コードを抜いてください。 — 修理・点検を依頼してください。

洗浄の仕上がりについて

不具合	原因	対処
食器が乾いていない。	リンス剤を使用しなかったか、使用量が少なすぎた。	<ol style="list-style-type: none"> 1 リンス剤を使用してください。 2 リンス剤の投入量を調整してください。→「リンス剤の量を設定する」の項参照 (P24)
	プログラムや追加機能で乾燥工程が無い、短すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乾燥工程付きのプログラムを選択してください。→「プログラム」の項参照 (P14~16)。オプション機能によって乾燥結果が落ちることもあります。
	食器などの糸尻部分に水が溜まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 食器はできる限る斜めにセットしてください。 <div data-bbox="863 658 1315 981"> </div>
	混合洗剤の乾燥効果が悪い。	<ol style="list-style-type: none"> 1 リンス剤を使用すると乾燥結果を改善できます。 2 乾燥効果のより良い別の混合洗剤を使用してください。
	乾燥結果を良くするためのエクストラドライが選択されていない。またはオートオープンの設定をしていない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エクストラドライを有効にしてください。→「オプション機能」の項参照 (P16) ▶ ドアオートオープンを有効にしてください。→「基本設定の概要」の項参照 (P30,31)
	食器を取り出すのが早すぎた。または乾燥工程がまだ終了していなかった。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プログラムの終了を待ってください。 2 プログラムが終了後30分経ってから食器を取り出してください。
	リンス剤の乾燥能力が抑制されている。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 一般的なメーカーの製品を使用してください。環境に配慮したエコ製品などは乾燥能力が制限されていることがあります。
樹脂製の食器が乾いていない。	故障ではありません。 樹脂製品は食器自体が蓄熱しないので、乾きがよくありません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修理できません

不具合	原因	対処
カトラリーが乾いていない。	カトラリートレイやカトラリーバスケット内できちんとセットされていない。	カトラリーが接触している部分に水滴がつく。 1 カトラリーはできるだけ個別にセットしてください。 2 接触した状態でセットすることを避けてください。
洗浄終了後、庫内が濡れている。	故障ではありません。 庫内に水滴が残るのは乾燥工程の原理に基づいています。 空気中の湿気を庫内壁で凝縮・結露させ、下に流します。	▶ 修理できません。
食器に食べ物の残りが付着している。	食器の間隔が狭すぎる、またはバスケットに食器を詰めすぎている。	1 間隔を空けて食器をセットしてください。噴射水が食器表面にあたるようにセットしてください。 2 食器が接触しないようにしてください。
	スプレーアームの回転が妨げられている。	▶ スプレーアームの回転を妨げないように食器をセットしてください。
	スプレーアームのノズルが詰まっている。	▶ スプレーアームを清掃してください。→「スプレーアームを洗浄する」の項参照 (P34)
	フィルターが汚れている。	▶ フィルターを洗浄してください。→「フィルターの洗浄」の項参照 (P33)
	フィルターが適切にセットされていない、取付けられていない。	▶ フィルターを適切に取り付けてください。→「フィルターシステム」の項参照 (P33~34)
	選択されたプログラムが弱すぎる。	▶ より強力なプログラムを選択してください。→「プログラム」の項参照 (P14~16)
	食器を事前に洗いすぎた。センサーが弱いプログラムを選択するので、こびりついた汚れなどが取れなかった。	▶ 食べ残しの固形物などは取り除いて、事前に洗い流さないでください。
	背が高く細い容器が、コーナー部分で十分に洗浄されていない。	▶ 背が高く細い容器はあまり斜めにせず、またコーナー部分にセットしないでください。
	上段バスケットの左右の高さが揃っていない。	▶ 左右の高さを同じ高さにセットしてください。

不具合	原因	対処
庫内に洗剤が残っている。	洗剤ディスペンサーの蓋が食器などに妨げられていて開かない。	1 上段バスケットの食器がタブレットトレイを防がないようにしてください。 2 食器や芳香剤をタブレットトレイに入れないでください。
	洗剤ディスペンサーの蓋がタブレット洗剤に妨げられていて開かない。	▶ タブレットは洗剤ディスペンサーに縦ではなく横向きにセットしてください。
	クイックプログラムやショートプログラムでタブレット洗剤が使用されている。タブレットが溶けるのに十分な時間がない。	▶ より強力なプログラムを選択してください。 →「プログラム」の項を参照 (P14~16) →「洗剤」の項を参照 (P25)
	洗剤の保管期間が長くなると、洗浄効果が落ちたり溶けにくくなったりします。または洗剤が固まっている。	▶ 洗剤を変えてください。 →「洗剤」の項を参照 (P25)
樹脂製品の表面に水垢が残っている。	樹脂製品の表面に付く水滴跡は避けることができません。 乾燥後は水滴の跡が残ります。	▶ より強力なプログラムを選択してください。 ▶ 食器を斜めにセットしてください。→「食器をセットする」の項参照 (P27) ▶ リンス剤を使用してください。→「リンス剤」の項参照 (P24) ▶ 軟水装置の設定を高くしてください。→「軟水装置の設定」の項参照 (P23)
庫内やドアに拭き取れる、または水で落とせるようなくもりがある。	洗剤成分が付着している。 このくもりはほとんどの場合化学的には落とせません。	▶ 洗剤を変えてください。→「洗剤」の項を参照 (P25) ▶ 拭き取るなどの物理的な方法で清掃してください。
	庫内に白いくもりがある。	1 軟水装置を適切にセットしてください。ほとんどの場合、設定を高くする必要があります。→「軟水装置の設定」の項参照 (P23) 2 必要があれば洗剤を変えてください。→「洗剤」の項を参照 (P25)
	ソルトディスペンサーの蓋がしっかりと閉まっていない。	▶ ソルトディスペンサーの蓋をしっかりと閉めてください。

不具合	原因	対処
庫内やドア、食器に落ちにくい白いくもりがある。	洗剤成分が付着している。 このくもりはほとんどの場合化学的には落とせません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗剤を変えてください。→「洗剤」の項を参照 (P25) ▶ 拭き取るなどの物理的な方法で清掃してください。
	硬度の設定が間違っている。 または水硬度が50° dH (8.9mmol/l) を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 軟水装置の硬度設定をするか、または軟水塩を補充してください。→「軟水装置の設定」の項参照 (P23)
	3 in1 洗剤またはエコ洗剤が十分な効果を発揮していない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 軟水装置の硬度を設定して、個別の洗剤を使用してください (適切な洗剤、リンス 剤、軟水塩)。→「軟水装置の設定」「洗剤」の項参照 (P23,25)
	洗剤が少なすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗剤の量を増やすか、洗剤を変えてください。→「洗剤」の項を参照 (P25)
	選択した洗浄プログラムが弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ より強力なプログラムを選択してください。→「プログラム」の項を参照 (P14~16)
食器に茶渋や口紅の痕が残る。	洗浄温度が低すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗浄温度がより高いプログラムを選択してください。→「プログラム」の項を参照 (P14~16)
	洗剤が少なすぎるか適切ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な洗剤を使用してください。→「洗剤」(P25) と洗剤メーカーの指示に従ってください。
	食器を事前に洗いすぎた。 センサーが弱いプログラムを選択するので、こびりついた汚れなどが取れなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 食べ残しの固形物などを取り除いて、事前に洗い流さないでください。
色 (ブルー、イエロー、ブラウン) の付いた、落ちにくい、または取れないくもりが庫内壁またはステンレスの食器に残る。	野菜に含まれている成分 (キャベツ、セロリ、じゃがいも) または水道水の成分 (マンガン) による膜の形成。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 庫内を清掃してください。拭取りなどの物理的な清掃または庫内クリーナーを使用した清掃を行ってください。完全に除去できないことがありますが、健康上は問題ありません。
	アルミニウムや銀の食器に含まれる金属成分の膜が形成される。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 庫内を清掃してください。拭取りなどの物理的な清掃または庫内クリーナーを使用した清掃を行ってください。完全に除去できないことがありますが、健康上は問題ありません。

不具合	原因	対処
色（ブルー、イエロー、ブラウン）の付いた、簡単に落とせる汚れが庫内に残っている（主に底部）。	食べ物の残りの成分または水道水の成分（石灰成分）による石鹸のような膜が形成される。	1 軟水装置の設定を確認してください。→「軟水装置の設定」の項参照（P23） 2 軟水塩を補充してください。 3 混合洗剤（タブレット）を使用する場合、軟水装置を有効にしてください。洗剤に関する注意事項に従ってください。→「洗剤」の項を参照（P25）
機器内部の樹脂製の部品が変色している。	食洗機内の樹脂製の部品は、使用している間に変色することがあります。	▶ 変色が発生することがありますが、機器の機能に影響はありません。
樹脂製品が変色している。	洗浄温度が低すぎる。	▶ 洗浄温度がより高いプログラムを選択してください。→「プログラム」の項を参照（P14～16）
	食器を事前に洗いすぎた。センサーが弱いプログラムを選択したので、こびりついた汚れなどが取れなかった。	▶ 食べ残しの固形物などを取り除き、事前に洗い流さないでください。
ガラスや金属製の食器の表面に取り除ける程度の線状の痕がある。	リンス剤の投入量が多すぎる。	▶ リンス剤の設定を低くしてください。→「リンス剤の量を設定する」の項参照（P24）
	リンス剤が補充されていない。	▶ 「リンス剤を補充する」の項参照（P24）
	最終すすぎの段階でも洗剤が残っている。洗剤ディスペンサーの蓋が食器などにより妨げられて完全に開いていない。	1 上段バスケットの食器がタブレットトレイを塞がないようにしてください。 2 食器や芳香剤をタブレットトレイに入れないでください。
	食器を事前に洗いすぎた。センサーが弱いプログラムを選択したので、こびりついた汚れなどが取れなかった。	▶ 食べ残しの固形物などを取り除き、事前に洗い流さないでください。

不具合	原因	対処
元に戻らない ガラスのくもり。	ガラスが食洗機洗浄に 対応していない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗機洗浄に耐性のあるガラスを使用してください。ガラスは大抵食洗機洗浄に適していますが、長期間の使用における劣化は考慮に入れる必要があります。 ▶ 蒸気にさらされる時間（洗浄後の時間など）が長くないようにしてください。 ▶ より低い温度のプログラムを選択してください。→「プログラム」の項を参照（P14～16） ▶ 水の硬度に合わせた軟水装置の設定にしてください。→「軟水装置の設定」の項参照（P23） ▶ ガラス保護成分を含む洗剤を使用してください。
カトラリー表面に 錆びがある。	カトラリーの錆びへの耐性が不十分 である。ナイフや包丁の刃がカトラ リーに何度もぶつかる事で錆びや すくなります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 防錆仕様のカトラリーを使用してください。 ▶ ナイフや包丁は他のカトラリーと重ならないようカトラリートレーにセットしてください。
	錆びがでているものと一緒に洗浄 しても、カトラリーに錆びが発生し ます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 錆びているものを洗浄しないでください。
	洗浄水中の塩含有量が多すぎる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 軟水塩がこぼれたら、必ず拭取ってください。 2 ソルトディスペンサーの蓋をしっかりと閉めてください。
洗剤ディスペンサーやタブ レットトレイに洗剤が残っ ている。	食器によりスプレーアームが妨げ られているので、洗剤が溶けき っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スプレーアームがブロックされていないか、または自由に回転できるか確認してください。
	洗剤が入れられたときに洗剤ディ スペンサーが濡れていた。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗剤ディスペンサーが乾いた状態のときに洗剤を投入してください。
過度な泡の発生がある。	リンス剤ディスペンサーにリンス剤 以外（手洗い用中性洗剤）が入っ ている。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ディスペンサーにリンス剤を補充してください。→「リンス剤を補充する」の項参照（P24）
	リンス剤がこぼれた。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リンス剤を布で拭き取ってください。
	洗剤や庫内洗浄剤により異常な泡 が発生している。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ その洗剤の使用を止め、食洗機に適した別の洗剤をご使用ください。→「洗剤」の項を参照（P25）

ディスプレイパネルの表示

不具合	原因	対処
軟水塩補充インジケーターが点灯する。	軟水塩の不足。	▶ 軟水塩を補充してください。→「軟水塩の補充」の項参照 (P23)
	センサーが軟水塩タブレットを感知しない。	▶ 軟水塩タブレットを使用しないでください。
軟水塩補充インジケーターが点灯しない。	軟水装置がオフになっている。	▶ 軟水装置を有効にしてください。→「軟水装置の設定」の項参照 (P23)
リンス剤補充インジケーターが点灯する。	リンス剤の不足。	▶ リンス剤を補充してください。→「リンス剤を補充する」の項参照 (P24)
		▶ リンス剤の使用量を設定してください。→「リンス剤の量を設定する」の項参照 (P24)
リンス剤補充インジケーターが点灯しない。	リンス剤システムがオフになっている。	▶ リンス剤の使用量を設定してください。→「リンス剤の量を設定する」の項参照 (P24)
プログラム終了後に庫内に水が残っている。	フィルターシステムまたはフィルターエリアが詰まっている。	<ol style="list-style-type: none"> 1 フィルターを洗浄してください。→「フィルターの洗浄」の項参照 (P33~34) 2 排水ポンプを洗浄してください。→「排水ポンプを洗浄する」の項参照 (P47)
	プログラムがまだ終了していない。	▶ プログラムの終了を待つか、リセットして終了してください。→「プログラムをキャンセルする」の項参照 (P29)
機器の電源が入らない、運転しない。	機器の機能が停止した。	<ol style="list-style-type: none"> 1 電源を抜くかブレーカーを切ってください。 2 最低2分間待ってください。 3 電源に繋いでください。 4 機器の電源を入れてください。
機器が作動しない。	ブレーカーが落ちている。	▶ ブレーカーを確認してください。
	電源コードが抜けている。	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンセントを確認してください。 2 電源コードがコンセントおよび機器の背面にあるソケットにきちんと繋がっているか確認してください。
	機器のドアがきちんと閉まっていない。	▶ ドアを閉めてください。

不具合	原因	対処
プログラムが自動的にスタートしてしまう。	プログラムの終了を待たなかった。	▶ 「プログラムをキャンセルする」の項参照 (P29)
プログラムの途中で中断または停止してしまう。	ドアがきちんと閉まっていない。	▶ ドアを閉めてください。
	電源または給水が遮断されている。	1 電源を確認してください。 2 給水に問題がないか確認してください。
	上段バスケットが機器のドアを押して、ドアがきちんと閉まるのを妨げている。	▶ 機器背面パネルがソケットやホースホルダーによって押されていないか確認してください。 ▶ 食器がバスケットからはみ出してドアが閉まるのを妨げないようにセットしてください。

動作不良

不具合	原因	対処
機器のドアが閉まらない。	ドアロックが作動している。	▶ ドアを力強く閉めてください。
	機器の設置に不具合がありドアが閉まらない。	▶ 機器が正しく設置されているか確認してください。ドアを閉める際に、ドア材や装飾部材などが隣接するキャビネットやワークトップに干渉してはいけません。
洗剤ディスペンサーのカバーが閉じない。	ディスペンサーやカバーが洗剤の残りなどで粘着している。	▶ 洗剤の残りを除去してください。

ノイズ

不具合	原因	対処
給水バルブの振動音。	設置状況によるもの。機器の故障ではありません。機器の動作に影響はありません。	▶ 設置状況によって改善できる場合あり。
衝撃音や衝突音。	スプレーアームが食器にあたっている。	▶ スプレーアームが食器にあたらないようにセットしてください。
	食器の量が少なすぎて、噴射水が直接庫内壁にあたっている。	▶ 食器を均等に広げてください。 ▶ 食器の量を増やしてください。
	軽い食器が洗浄中に動いている。	▶ 食器が動かないようにセットしてください。

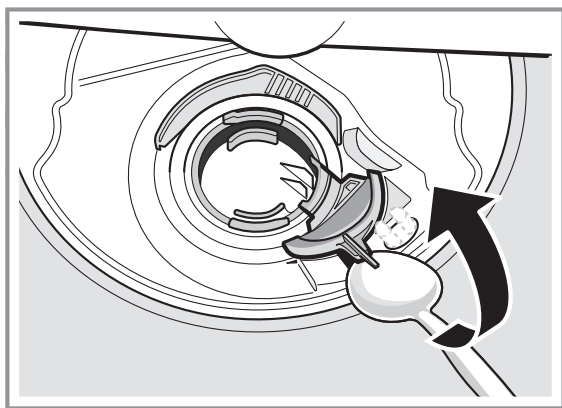
排水ポンプを洗浄する

大きな食べ物の残りや異物は、排水ポンプを詰まらせることがあります。洗浄水がきちんと排水されなくなったら、排水ポンプを清掃する必要があります。

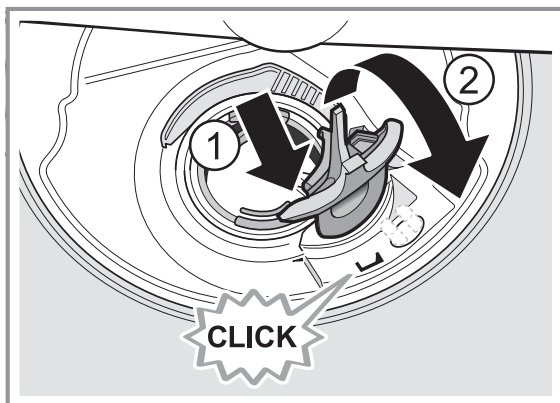
警告 ケガの危険!

鋭く尖った異物やガラスの破片が排水ポンプを詰まらせ、ケガに繋がる恐れがあります。

- ▶ 慎重に異物を取り除いてください。
- 1 機器の電源を抜いてください。
- 2 上段および下段バスケットを外してください。
- 3 フィルターシステムを外してください。
- 4 水を汲みだしてください。
- 5 ポンプカバーをスプーンで持ち上げて縁を掴みます。



- 6 ポンプカバーを斜めに内側へ持ち上げて取り外します。
- 7 ポンプエリアの食べ物の残りや異物を取り除いてください。
- 8 ポンプカバーを取付けて①、下へ押します②。



- ✓ ポンプカバーはカチッとハマります。
- 9 フィルターシステムを取り付けてください。
- 10 上段および下段バスケットを取り付けてください。

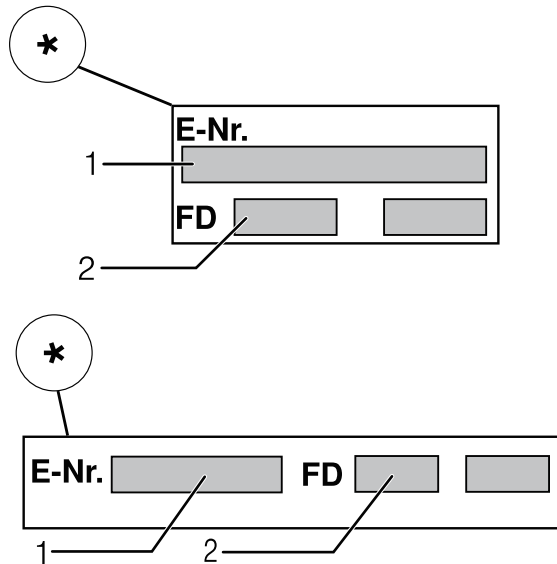


◀ 参考動画

カスタマーサービス

トラブルを解決できなかった場合、カスタマーサービスへご連絡ください。不要な技術者訪問を回避するためにも、私どもはいつも適切な解決方法を見つけます。カスタマーサービスの連絡先は、本使用説明書の裏側に記載されています。

お電話いただく際は、製品番号 (E-No.=1) および製造番号 (FD=2) をお知らせください。それらは、ドアにある銘板 [1] に記載されています。



修理は、メーカー純正の交換部品を使用し、研修を受けたメンテナンス技術者によって実行されます。

環境保護のために

新しい製品の梱包および古くなった製品には、貴重な資源および再生する価値のある材料が含まれています。

各パーツは、分別して廃棄してください。

最新の廃棄方法に関しましては、お求めになった専門店または各自治体にお問い合わせください。

廃棄処分について



使用済みの食器洗い機を廃棄する場合は、まず使用できないようにしてください。

- 電源から外した後、電源コードを切断し、コードからプラグを切断してください。
- お子様が誤って中に入り閉じ込められてしまうことを防ぐために、閉まらないようにドアを破壊してください。ドアは中から開けることができません。



使用済み機器の廃棄処分



電子および電気製品や機器には、処理や廃棄方法を誤ると人体や環境に害を及ぼす危険性のある材質が含まれている場合があります。(これらの材質は、機器を正常に機能させるためには欠かせないものです。)したがって、不要になった機器を家庭ごみとして出すことはしないでください。

- 使用済みの機器は、お住まいのごみ収集センターやリサイクルセンターで処分してください。
- 保管中はお子様への危険がないようにご注意ください。
- 主電源からの電気プラグの取り外しや切断は有資格者が行なってください。
- 誤って使用されることがないように、電源コードは本体側の根元で切断し、プラグも切断しておいてください。



梱包材の廃棄処分

輸送時の保護用詰物は、廃棄をする際に環境への影響が少ない材質を使用しています のでリサイクルすることができます。プラスチック素材の包装や発泡スチロール等の梱包材は窒息を招く危険がありますので、お子様の手には触れないよう十分ご注意ください。

ガゲナウ・ビルトインキッチン機器
総輸入発売元
株式会社 N・TEC

本社
〒651-1411
兵庫県西宮市山口町名来2-23-7
TEL. 078-904-3101
FAX. 078-904-3102

東京支店
〒106-0044
東京都港区東麻布1-8-4
TEL. 03-5545-3877
FAX. 03-5545-3878

ショールーム オックス
〒659-0092
兵庫県芦屋市大原町6-16
TEL. 0797-32-3751
FAX. 0797-32-3781

東京ショールーム
〒106-0044
東京都港区東麻布1-8-4
TEL. 03-5545-3877
FAX. 03-5545-3878

www.ntec.tv

GAGGENAU